

高松市の文化芸術に関する市民アンケート調査の概要

調査目的

本調査は、市民の皆様の文化芸術活動の現状や今後のあり方などについて、御意見をお聞かせいただき、本市の特性に根ざした次期計画の策定を図るために実施した。

調査設計

調査方法：郵送・オンライン併用調査法（前回までは郵送調査法）

調査対象：無作為抽出した18歳以上の市民3,000人（郵送）

18歳以上の市民（オンライン）

調査期間：令和5年5月18日～6月30日

回収率：【郵送】

有効回収数：809票（有効回収率：27.0%）

【オンライン】

有効回収数：123票

※各設問ごとの無回答、無効回答を除いて集計しています。

調査項目

・あなた御自身について

性別、年代、居住地（校区）、職業形態

・高松市の文化的な魅力について

高松市を「文化芸術活動が盛んなまち」だと思うか

高松市が文化的なまちであると感じるところ/高松市が文化的なまちであると感じられないところ

高松市の文化芸術でイメージするもの

高松市の文化芸術への取組に対する満足度

・文化芸術活動へのかかわりについて

日常生活のなかで優れた文化芸術の鑑賞や活動を大切だと思うか

この1年間で文化芸術の催しを鑑賞したか

どのような催しを鑑賞したか/どなたと一緒に鑑賞したか/鑑賞した催しは有料か、無料か

文化芸術の催しを鑑賞しなかった理由

同居の子ども（18歳未満）はこの1年間で文化芸術の催しを鑑賞したか

どのような催しを鑑賞したか（子ども）

この1年間に御自身で文化芸術活動をしたか

どのような活動をしたか/どなたと一緒に活動したか/活動を始めるきっかけ

文化芸術活動をしなかった理由

同居の子ども（18歳未満）はこの1年間で学校以外で文化芸術活動をしたか

どのような活動をしたか（子ども）

市民の文化芸術活動が盛んになるために、市が行うものとして必要なもの

市民の文化芸術活動が盛んになるために、市民や芸術団体、企業などの民間が行うものとして必要なもの

高松市の文化施設の利用頻度

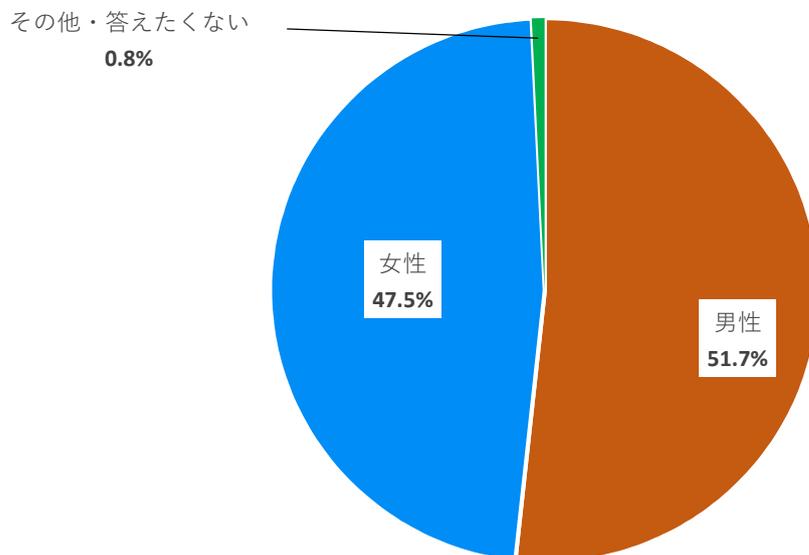
高松市の文化施設の利用頻度

オルタナティブスペースの認知度、利用頻度

高松市の文化芸術に関する市民アンケート調査結果

あなた御自身について

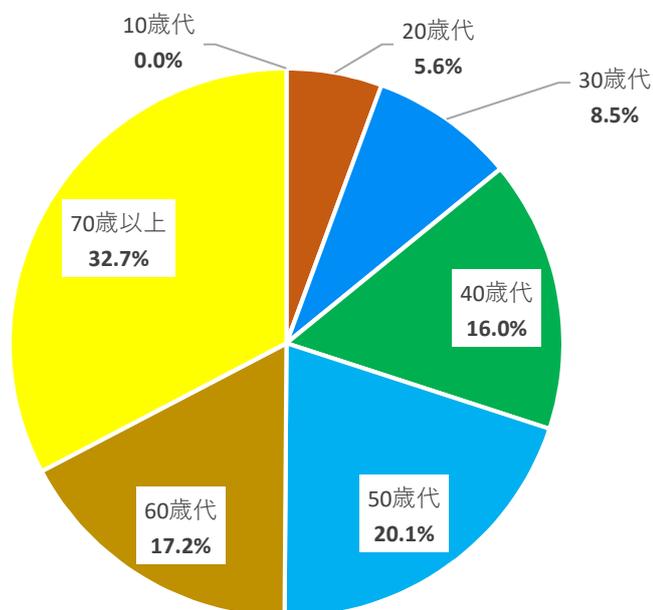
問1 あなたの性別を教えてください。



N = 932

回答者の性別は、「男性」（51.7%）、「女性」（47.5%）と、僅かではあるが「男性」の割合が多くなっている。

問2 あなたの年齢を教えてください。



N = 932

回答者の年齢は、「70歳以上」（32.7%）が最も多く、次いで「50歳代」（20.1%）と続き、「40歳代」以降の年代の回答が多くなっている。

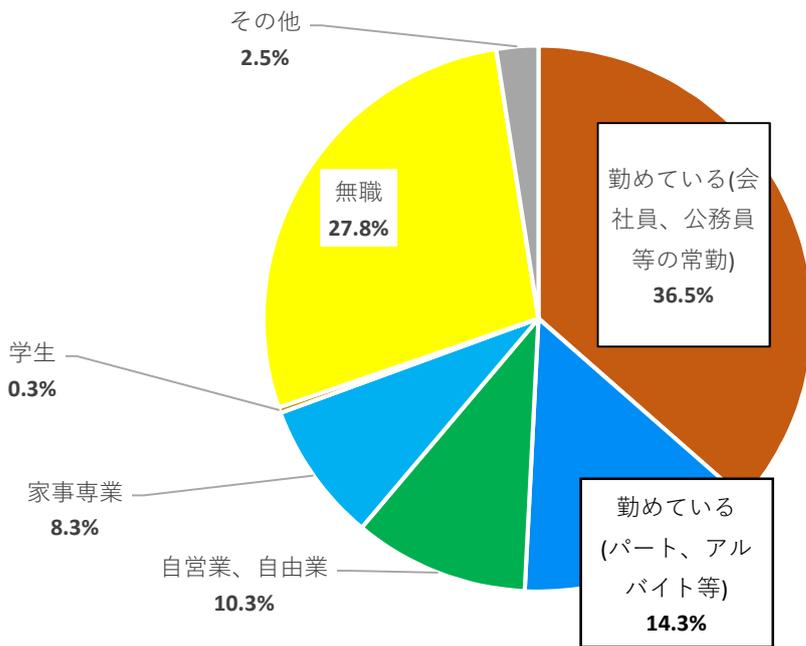
「10歳代」からの回答はなかった。

問3 あなたは、どこの校区にお住まいですか。

回答数		比率		回答数		比率		回答数		比率	
新番丁	37	4.0%	屋島東	6	0.6%	下笠居	9	1.0%	庵治第二	—	—
亀阜	45	4.8%	屋島西	23	2.5%	女木	1	0.1%	牟礼	14	1.5%
栗林	36	3.9%	前田	11	1.2%	男木	1	0.1%	牟礼北	8	0.9%
花園	12	1.3%	川添	13	1.4%	川島	18	1.9%	牟礼南	14	1.5%
高松第一	19	2.0%	林	32	3.4%	十河	10	1.1%	計	931	100.0%
鶴尾	18	1.9%	三溪	8	0.9%	植田	5	0.5%			
太田	45	4.8%	仏生山	25	2.7%	東植田	2	0.2%			
太田南	25	2.7%	香西	28	3.0%	塩江	7	0.8%			
中央	16	1.7%	一宮	37	4.0%	香南	14	1.5%			
木太	39	4.2%	多肥	34	3.7%	大野	12	1.3%			
木太北部	15	1.6%	川岡	14	1.5%	浅野	17	1.8%			
木太南	12	1.3%	円座	26	2.8%	川東	26	2.8%			
古高松	43	4.6%	檀紙	25	2.7%	国分寺北部	29	3.1%			
古高松南	13	1.4%	弦打	19	2.0%	国分寺南部	27	2.9%			
屋島	20	2.1%	鬼無	9	1.0%	庵治	12	1.3%			

回答者の居住校区は、「亀阜」「太田」（4.8%）が最も多く、次いで「古高松」（4.6%）、「木太」（4.2%）と続いている。

問4 あなたの就業形態について教えてください。

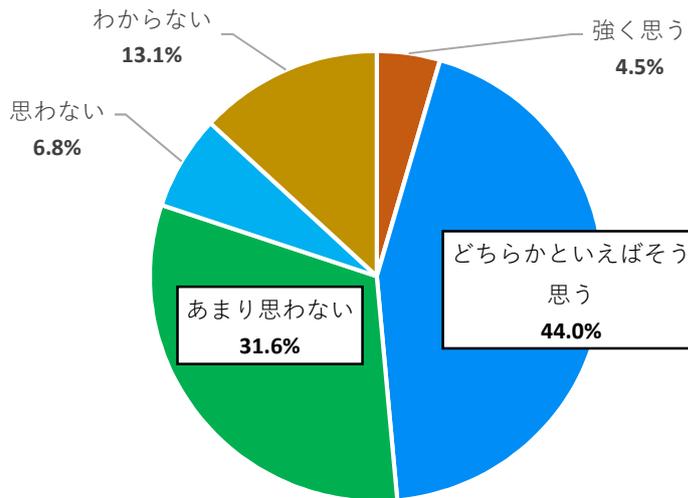


N = 931

回答者の就業形態は「勤めている（会社員、公務員等の常勤）」（36.5%）が最も多く、次いで「無職」（27.8%）、「勤めている（パート、アルバイト等）」（14.3%）となっている。

高松市の文化的な魅力について

問5 あなたは、高松市を「文化芸術活動が盛んなまち」だと思いますか。



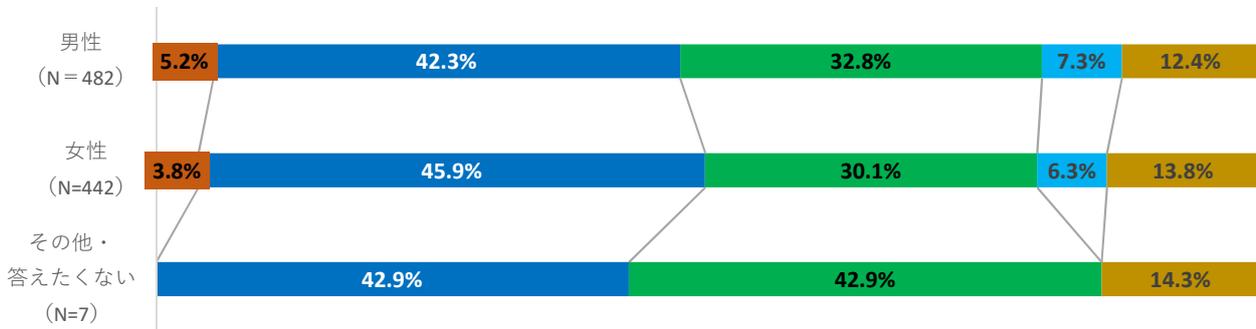
N = 931

高松市を「文化芸術が盛んなまち」だと思うかについて、「強く思う」（4.5%）と「どちらかといえばそう思う」（44.0%）を合わせた『思う』が48.5%と約半数近くが高松市を「文化芸術が盛んなまち」だと感じている。「あまり思わない」（31.6%）、「思わない」（6.8%）を合わせた『思わない』は38.4%となっている。

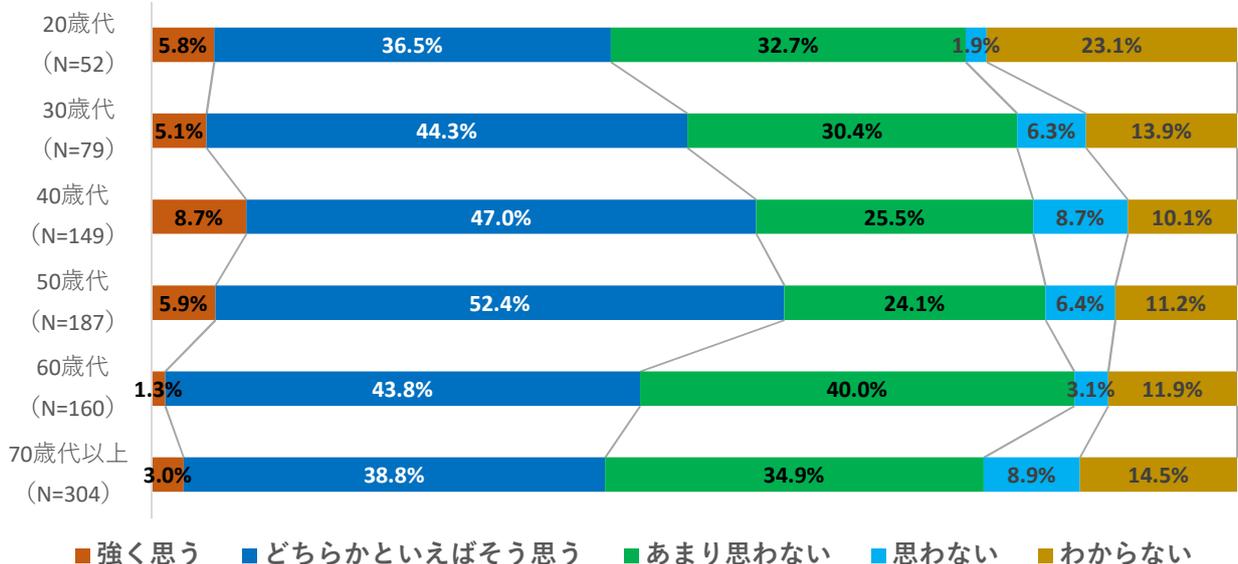
性別にみると、全て半数近くが『思う』と回答している。

年齢別にみると、40歳代から50歳代の年代で『思う』と回答した割合が半数を超え、高くなっている。

【性別】



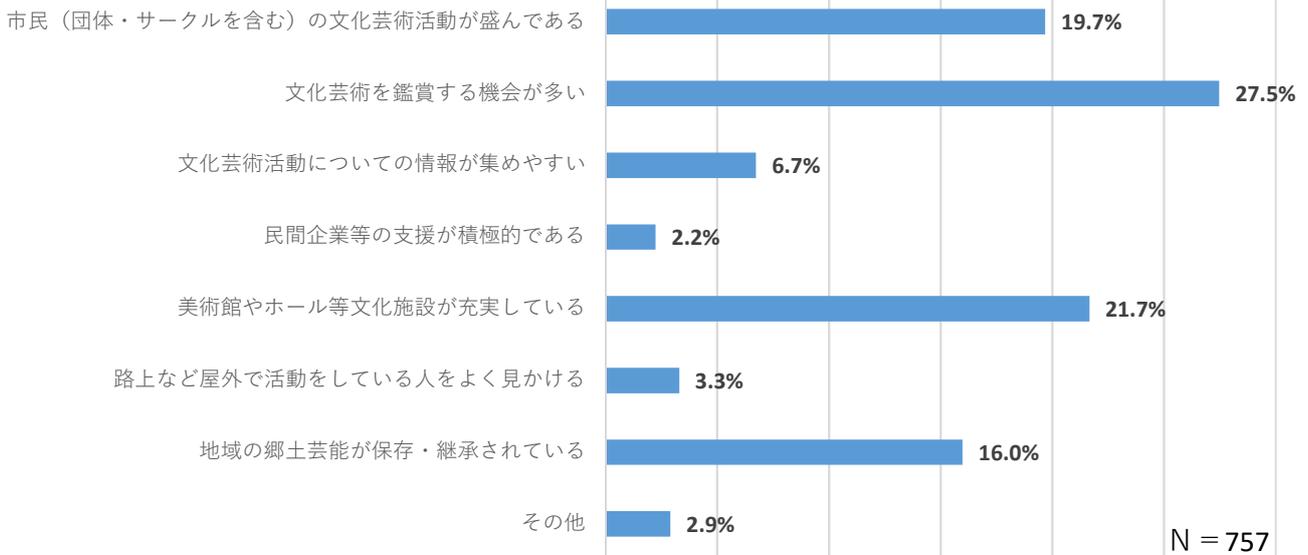
【年齢別】



■ 強く思う ■ どちらかといえばそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

問6-1

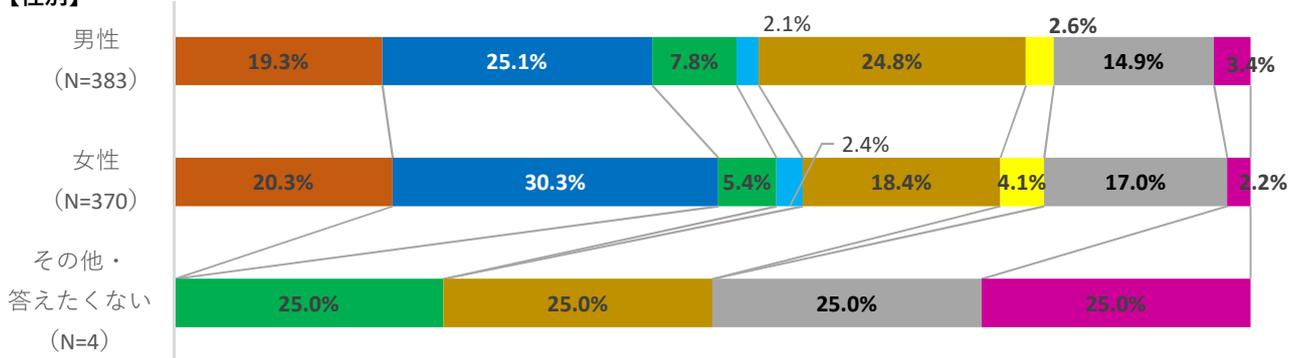
問5で「強く思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。高松市が文化的なまちであると感じるところはどこですか。（複数回答）



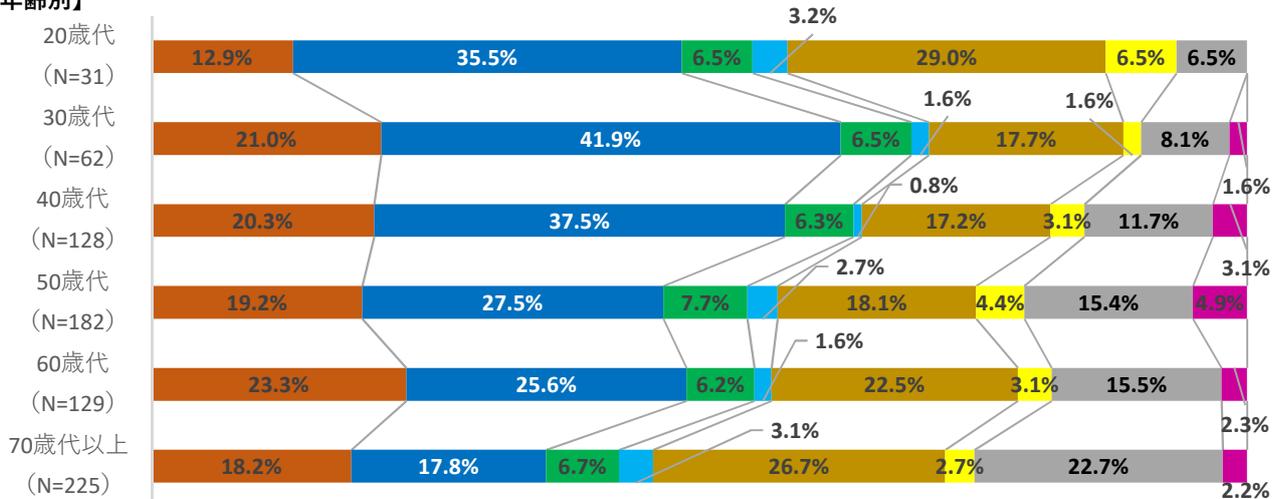
高松市が文化的なまちであると感じるところは、「文化芸術を鑑賞する機会が多い」（27.5%）が最も多い。

性別でみると、男性と女性に大きな差はなく、年齢別にみると、20歳代～60歳代では「文化芸術を鑑賞する機会が多い」が最も多く、70歳代以上では「美術館やホール等文化施設が充実している」が最も多くなっている。

【性別】



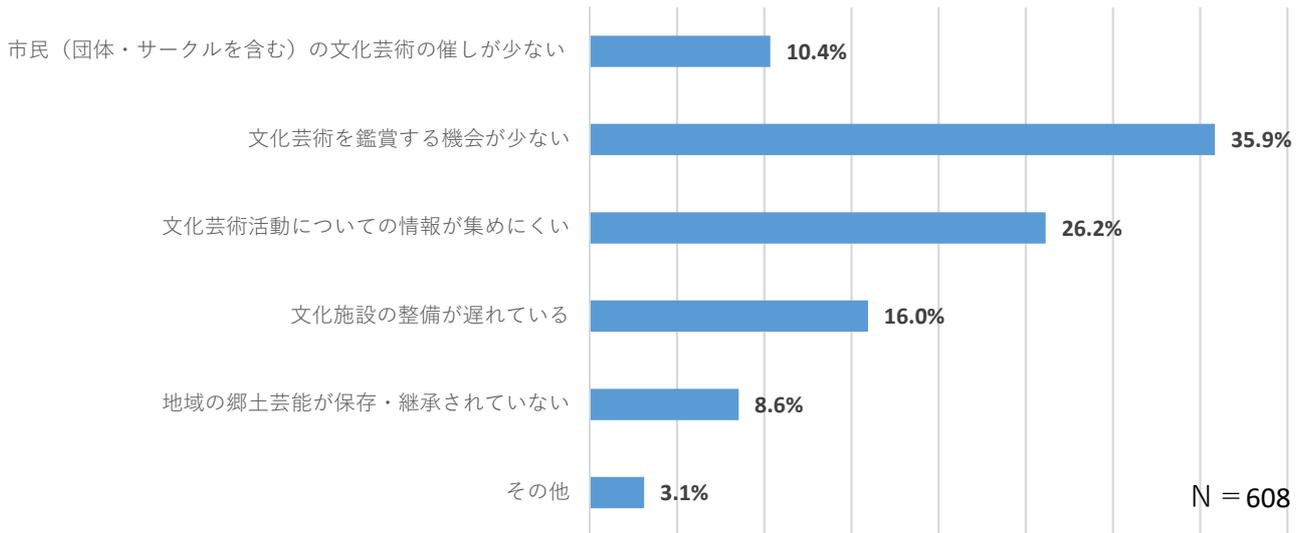
【年齢別】



- 市民（団体・サークルを含む）の文化芸術活動が盛んである
- 文化芸術を鑑賞する機会が多い
- 文化芸術活動についての情報が集めやすい
- 民間企業等の支援が積極的である
- 美術館やホール等文化施設が充実している
- 路上など屋外で活動をしている人をよく見かける
- 地域の郷土芸能が保存・継承されている
- その他

問6-2

問5で「あまり思わない」又は「思わない」と回答した方にお聞きします。高松市が文化的なまちであると感じられないところはどこですか。（複数回答）

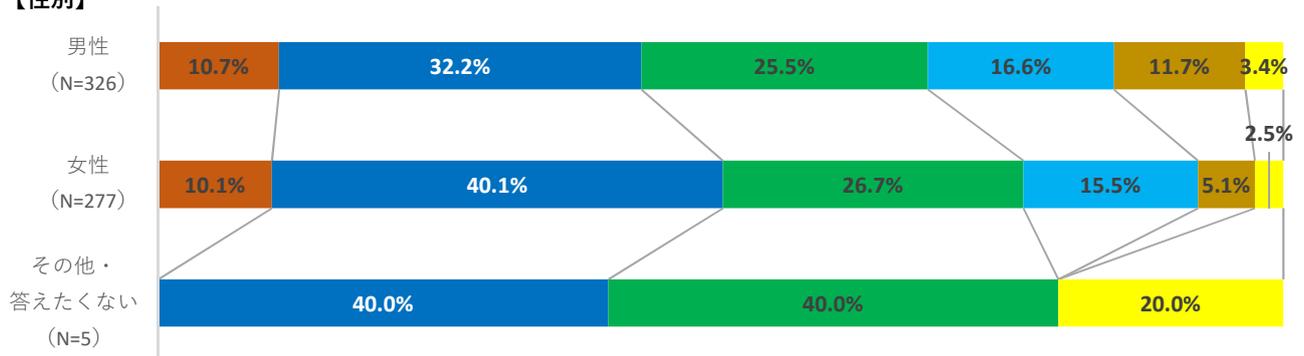


高松市が文化的なまちであると感じられないところは、「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」（35.9%）が最も多く、次いで「文化芸術活動についての情報が集めにくい」（26.2%）となっている。

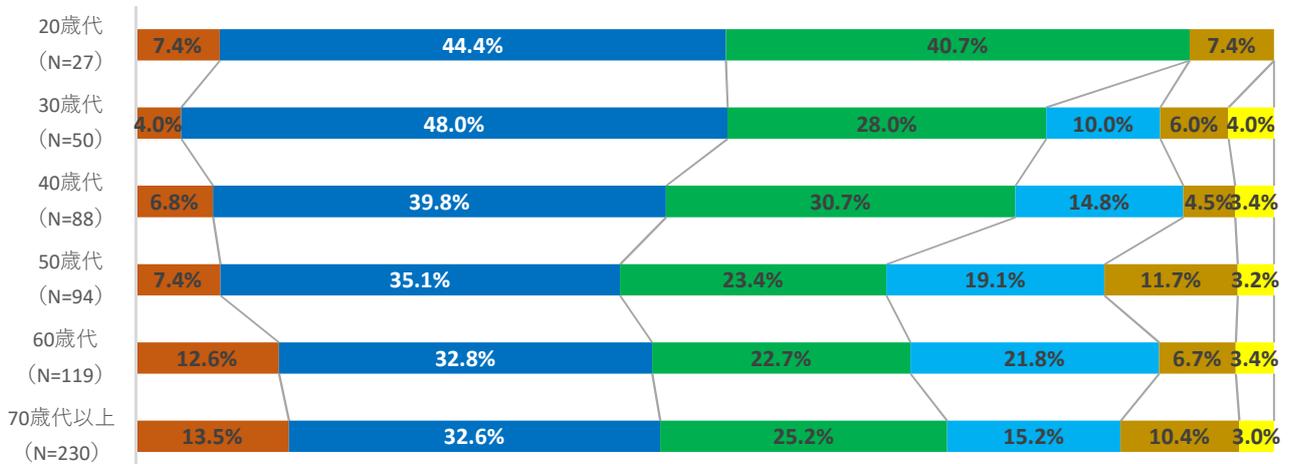
性別にみると、男性・女性ともに「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」が最も多く、性別によって大きな差は見られない。

年齢別に見ると、全ての年代で「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」が最も多く、30歳代で48.0%、20歳代で44.4%と高い割合になっている。

【性別】

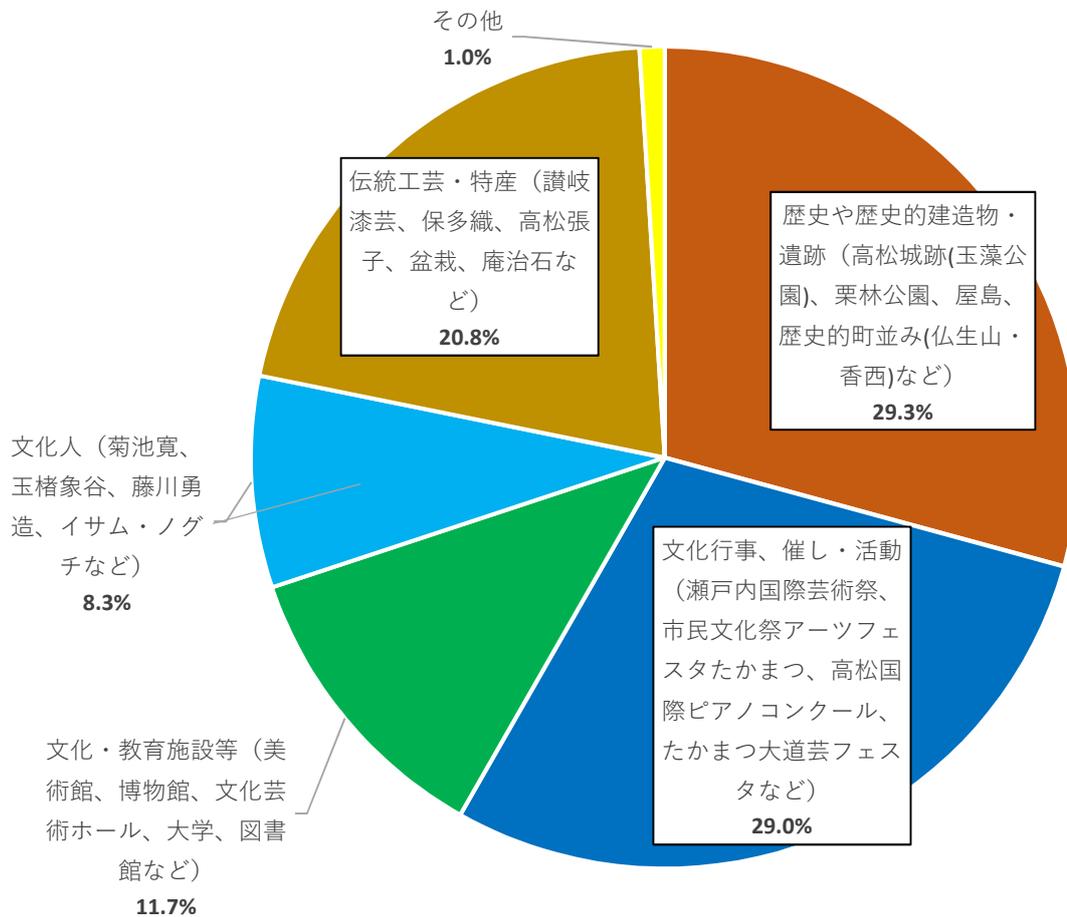


【年齢別】



- 市民（団体・サークルを含む）の文化芸術の催しが少ない
- 文化芸術を鑑賞する機会が少ない
- 文化芸術活動についての情報が集めにくい
- 文化施設の整備が遅れている
- 地域の郷土芸能が保存・継承されていない
- その他

問7-1 あなたが高松市の文化芸術でイメージするものはどんなものですか。（複数回答）



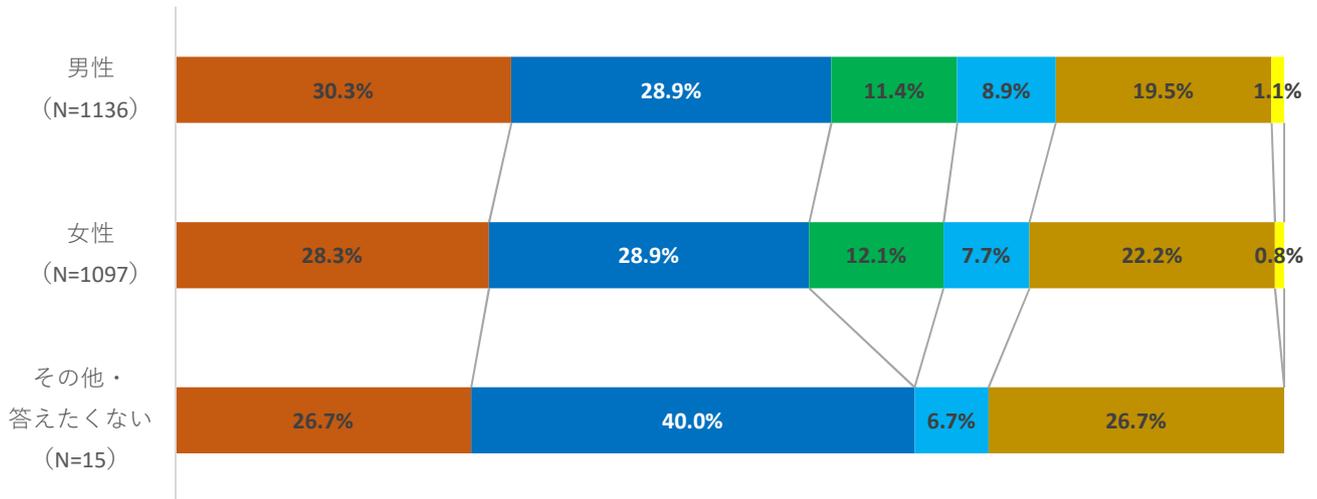
N = 2248

高松市の文化芸術でイメージするものについて、「歴史や歴史的建造物・遺跡（高松城跡（玉藻公園）、栗林公園、屋島、歴史的町並み（仏生山・香西）など）」（29.3%）、「文化行事、催し・活動（瀬戸内国際芸術祭、市民文化祭アーツフェスタたかまつ、高松国際ピアノコンクール、たかまつ大道芸フェスタなど）」（29.0%）がそれぞれ、3割近くを占めており、合わせると過半数をこの2項目で占めている。

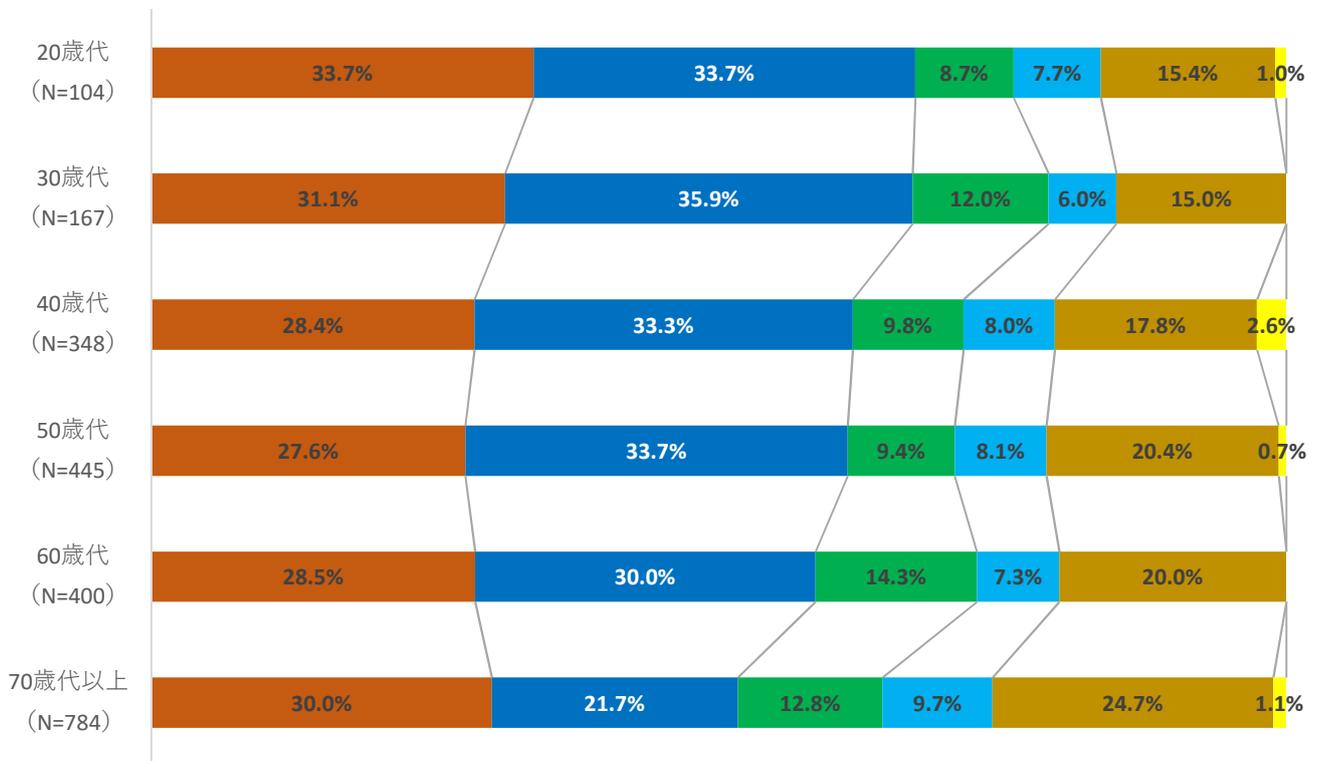
性別にみると、男性では「歴史や歴史的建造物・遺跡（高松城跡(玉藻公園)、栗林公園、屋島、歴史的町並み(仏生山・香西)など）」（30.3%）、女性では「文化行事、催し・活動（瀬戸内国際芸術祭、市民文化祭アーツフェスタたかまつ、高松国際ピアノコンクール、たかまつ大道芸フェスタなど）」（28.9%）が最も多く、その他・答えたくないでも「文化行事、催し・活動（瀬戸内国際芸術祭、市民文化祭アーツフェスタたかまつ、高松国際ピアノコンクール、たかまつ大道芸フェスタなど）」（40.0%）が最も多い。

年齢別にみると、20歳代～60歳代では、「歴史や歴史的建造物・遺跡（高松城跡（玉藻公園）、栗林公園、屋島、歴史的町並み（仏生山・香西）など）」、「文化行事、催し・活動（瀬戸内国際芸術祭、市民文化祭アーツフェスタたかまつ、高松国際ピアノコンクール、たかまつ大道芸フェスタなど）」の回答が多く、70歳代以上では、他の年代と違い、「歴史や歴史的建造物・遺跡（高松城跡（玉藻公園）、栗林公園、屋島、歴史的町並み（仏生山・香西）など）」（30.0%）に次いで、「伝統工芸・特産（讃岐漆芸、保多織、高松張子、盆栽、庵治石など）」（24.7%）の回答率が高かった。

【性別】

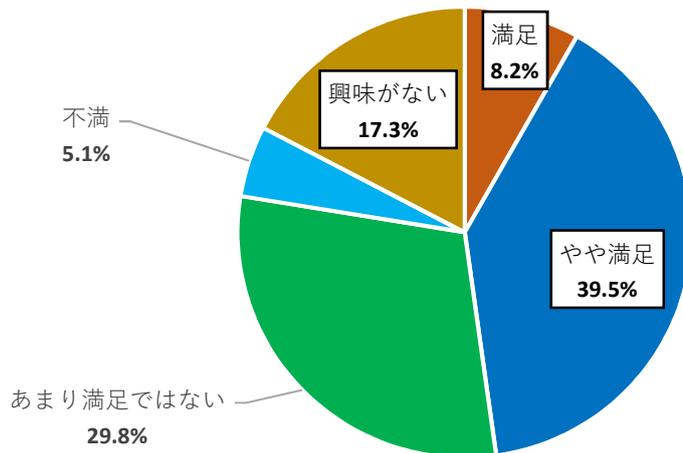


【年齢別】



- 歴史や歴史的建造物・遺跡（高松城跡(玉藻公園)、栗林公園、屋島、歴史的町並み(仏生山・香西)など）
- 文化行事、催し・活動（瀬戸内国際芸術祭、市民文化祭アーツフェスタたかまつ、高松国際ピアノコンクール、たかまつ大道芸フェスタなど）
- 文化・教育施設等（美術館、博物館、文化芸術ホール、大学、図書館など）
- 文化人（菊池寛、玉楮象谷、藤川勇造、イサム・ノグチなど）
- 伝統工芸・特産（讃岐漆芸、保多織、高松張子、盆栽、庵治石など）
- その他

問7-2 高松市の文化芸術への取組に対する、あなた御自身の満足度はいかがですか。



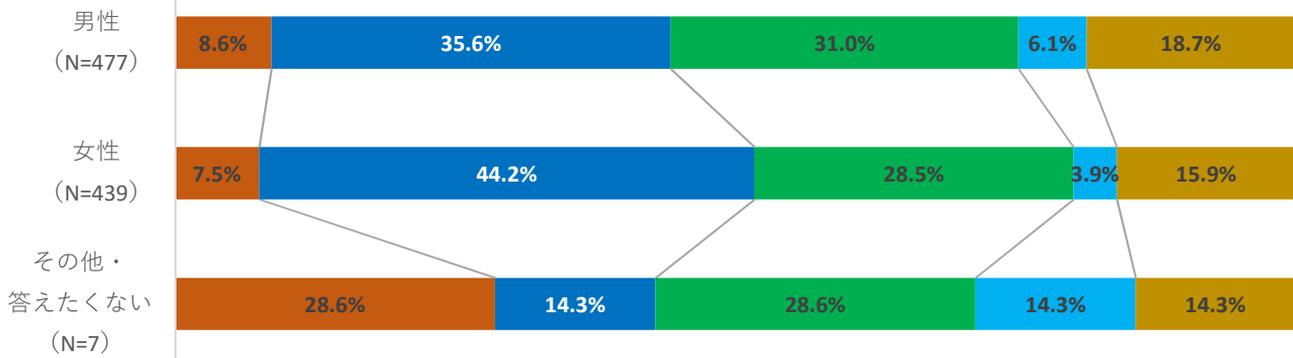
N = 923

高松市の文化芸術への取組に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は47.7%となっており、「あまり満足でない」「不満」を合わせた『不満』は34.9%、「興味がない」は17.3%となっている。

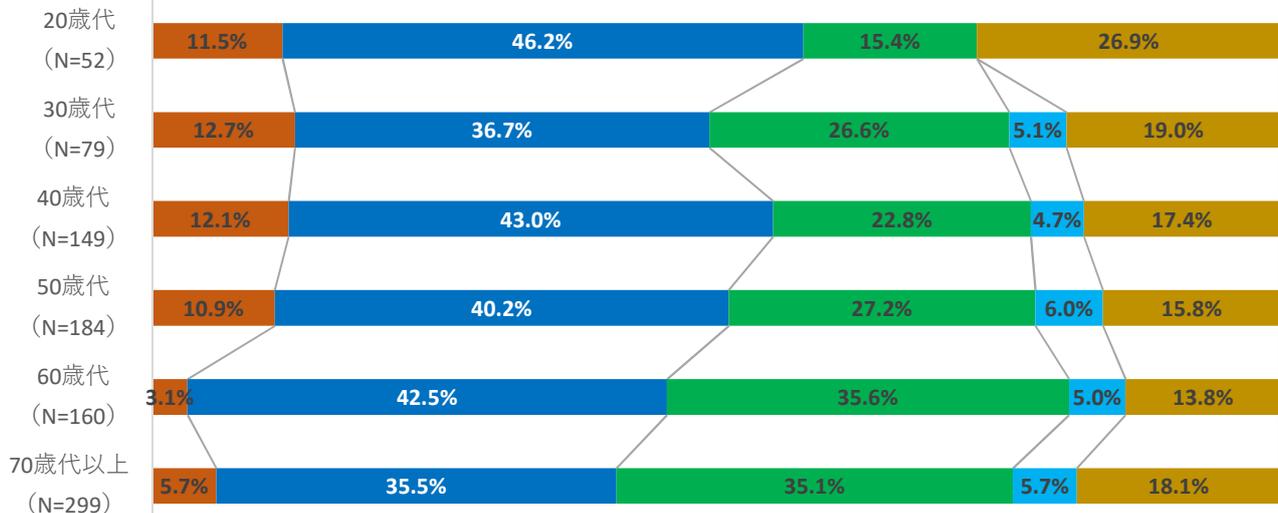
性別にみると、男性は『満足』『不満』共に4割程度、女性は『満足』が5割程度、『不満』が3割程度と、女性の方が満足度が高い。

年齢別にみると、20歳代から50歳代では30歳代を除き『満足』が5割を超えており、60歳代から70歳代以上でも4割程度となっているが『不満』についても同程度となっている。

【性別】



【年齢別】

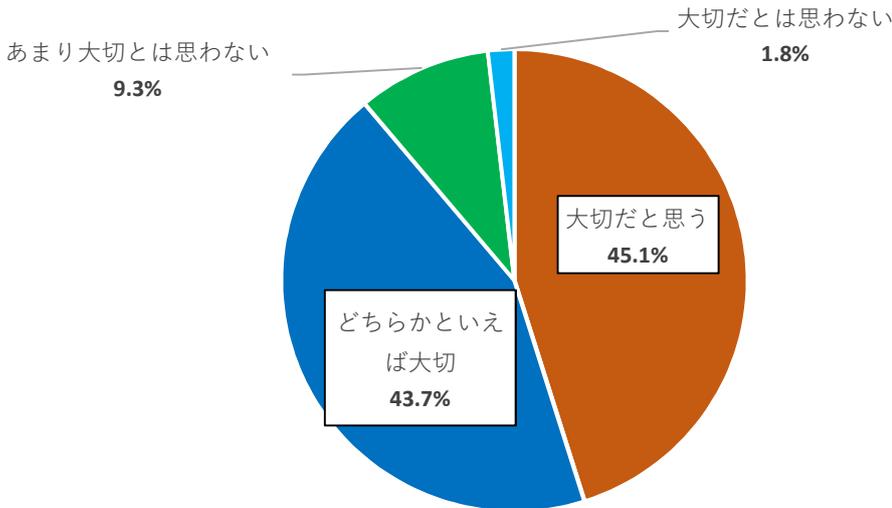


■ 満足 ■ やや満足 ■ あまり満足ではない ■ 不満 ■ 興味がない

文化芸術活動へのかかわりについて

問8

あなたは、日常生活の中で優れた文化芸術を鑑賞したり、活動を行ったりすることは大切だと思いますか。

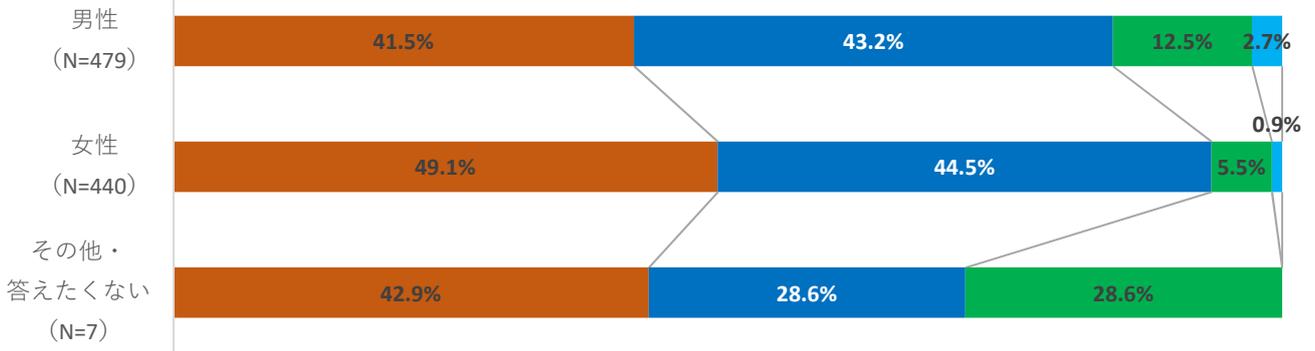


N = 926

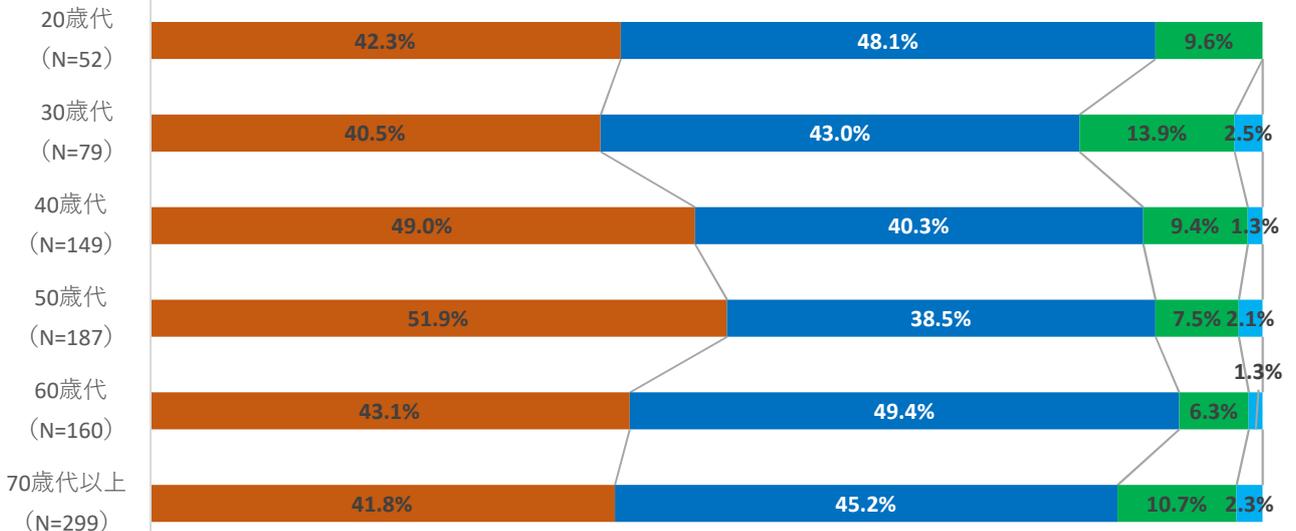
日常生活の中で優れた文化芸術を鑑賞したり、活動を行ったりすることは大切だと思うかについて、「大切だと思う」「どちらかといえば大切」を合わせた『大切』は88.8%と、大半の市民が大切と感じていることが分かる。

性別、年齢で見てもほぼすべてにおいて『大切』が8割を超えている。

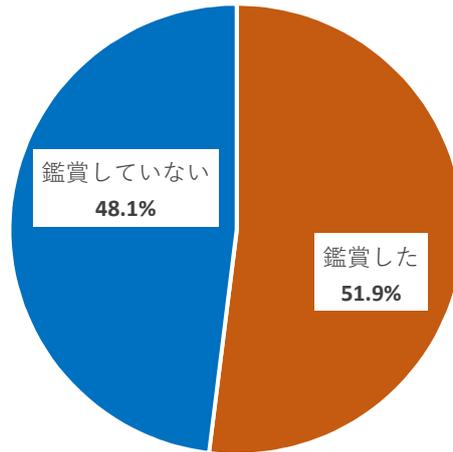
【性別】



【年齢別】



■ 大切だと思う ■ どちらかといえば大切 ■ あまり大切とは思わない ■ 大切だとは思わない



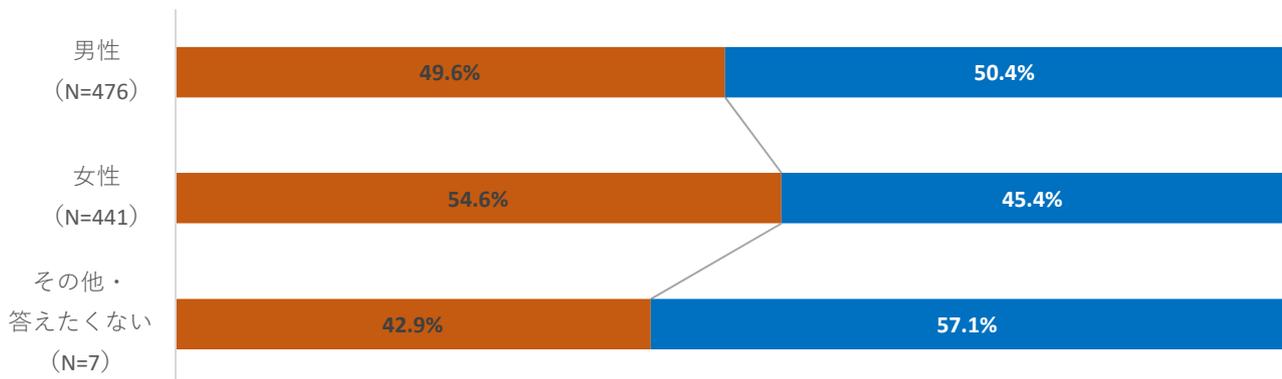
N = 924

この1年間で文化芸術の催しなどを鑑賞したかについて、「鑑賞した」（51.9%）、「鑑賞していない」（48.1%）となっている。

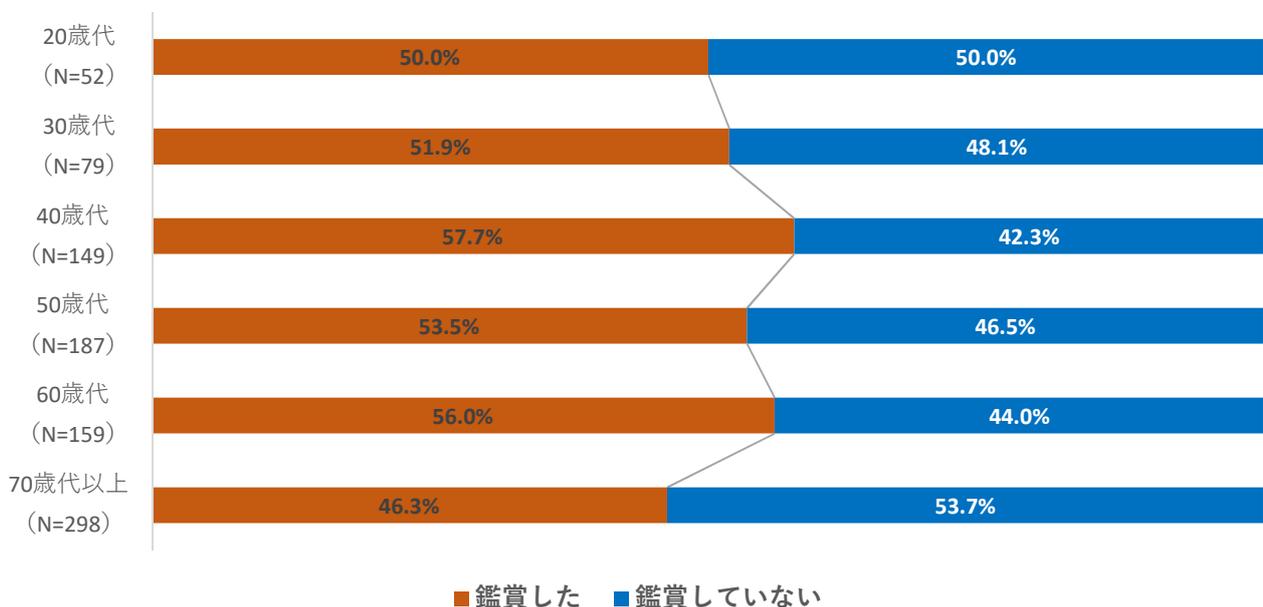
性別にみると、女性に「鑑賞した」の回答が多い。

年齢別にみると、「鑑賞した」の回答は40歳代の57.7%が最も多く、「鑑賞していない」の回答は、70歳代以上の53.7%が最も多い。

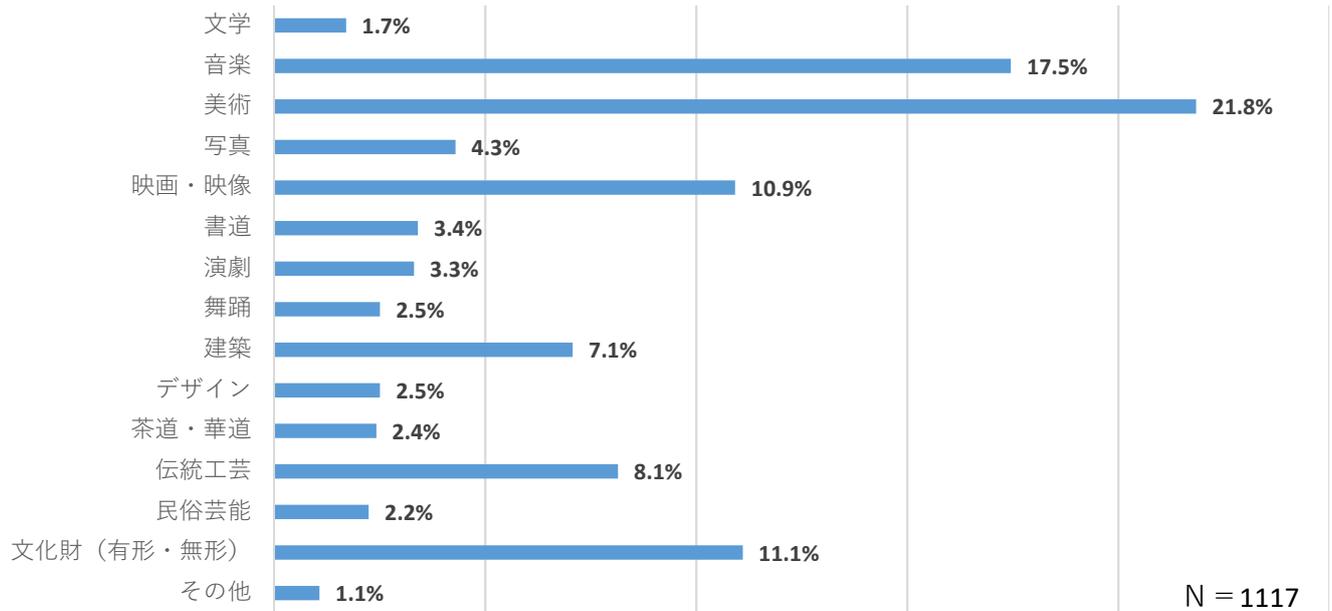
【性別】



【年齢別】



問9-2 問9-1で「鑑賞した」と回答した方にお聞きます。どのような催し等を鑑賞しましたか。（複数回答）



どのような催し等を鑑賞したかについて、「美術」（21.8%）や「音楽」（17.5%）の回答が多く、映画や文化財についての関心も伺える。

性別にみると、大きな差はない。

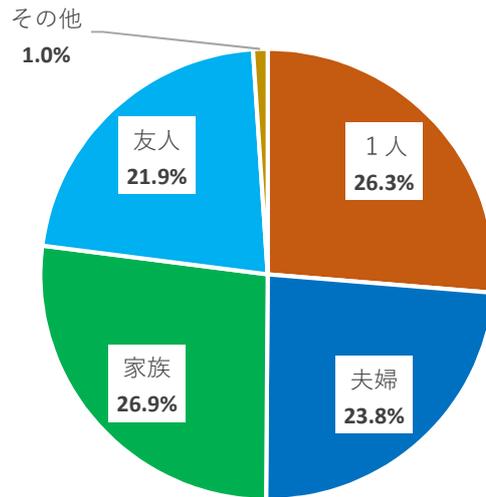
年齢別にみると20歳代から50歳代までは「美術」回答が2割を超えており、50歳代以上から「文化財（有形・無形）」、60歳代以上から「伝統工芸」の回答が1割を超えている。

		文学	音楽	美術	写真	映画・映像	書道	演劇	舞踊
性別	男性 (N=524)	1.9%	16.8%	21.8%	5.0%	10.3%	3.1%	2.3%	1.7%
	女性 (N=588)	1.5%	18.2%	21.9%	3.7%	11.4%	3.6%	4.3%	3.2%
	その他・答えたくない (N=5)	—	—	20.0%	—	20.0%	20.0%	—	—
年齢別	20歳代 (N=56)	1.8%	17.9%	33.9%	1.8%	16.1%	—	—	—
	30歳代 (N=94)	1.1%	17.0%	25.5%	2.1%	12.8%	2.1%	8.5%	1.1%
	40歳代 (N=192)	0.5%	19.8%	25.5%	3.6%	11.5%	3.1%	4.2%	1.6%
	50歳代 (N=237)	1.7%	17.3%	22.4%	3.0%	10.5%	3.8%	3.4%	2.1%
	60歳代 (N=218)	1.8%	14.2%	19.3%	5.0%	11.9%	2.8%	2.3%	3.2%
	70歳代以上 (N=320)	2.5%	18.4%	17.8%	6.3%	8.8%	4.7%	2.5%	3.8%

		建築	デザイン	茶道・華道	伝統工芸	民俗芸能	文化財（有形・無形）	その他
性別	男性 (N=524)	8.2%	2.3%	1.5%	8.0%	3.2%	12.8%	1.1%
	女性 (N=588)	6.0%	2.7%	3.2%	8.3%	1.4%	9.7%	0.9%
	その他・答えたくない (N=5)	20.0%	—	—	—	—	—	20.0%
年齢別	20歳代 (N=56)	8.9%	3.6%	—	7.1%	—	8.9%	—
	30歳代 (N=94)	9.6%	3.2%	2.1%	5.3%	1.1%	7.4%	1.1%
	40歳代 (N=192)	7.3%	4.2%	2.1%	3.1%	2.6%	9.4%	1.6%
	50歳代 (N=237)	8.4%	4.2%	3.4%	5.9%	1.7%	10.5%	1.7%
	60歳代 (N=218)	8.3%	1.4%	2.3%	10.6%	3.7%	12.8%	0.5%
	70歳代以上 (N=320)	4.1%	0.6%	2.5%	12.2%	2.2%	12.8%	0.9%

問9-3

問9-1で「鑑賞した」と回答した方にお聞きします。どなたと御一緒に鑑賞されましたか。



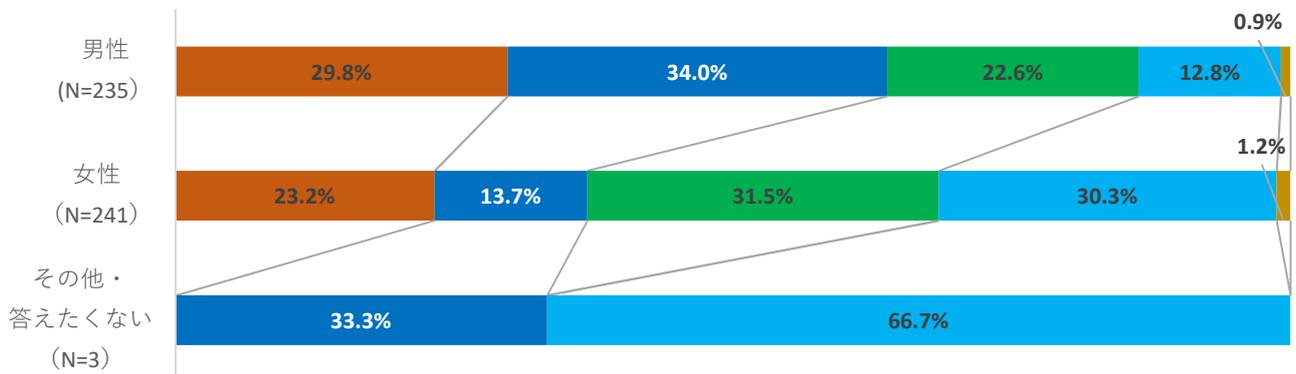
N = 479

どなたと一緒に鑑賞したかについて、「その他」を除いたどの項目も2割を超えているが、その中でも「家族」(26.9%)の回答が最も多い。

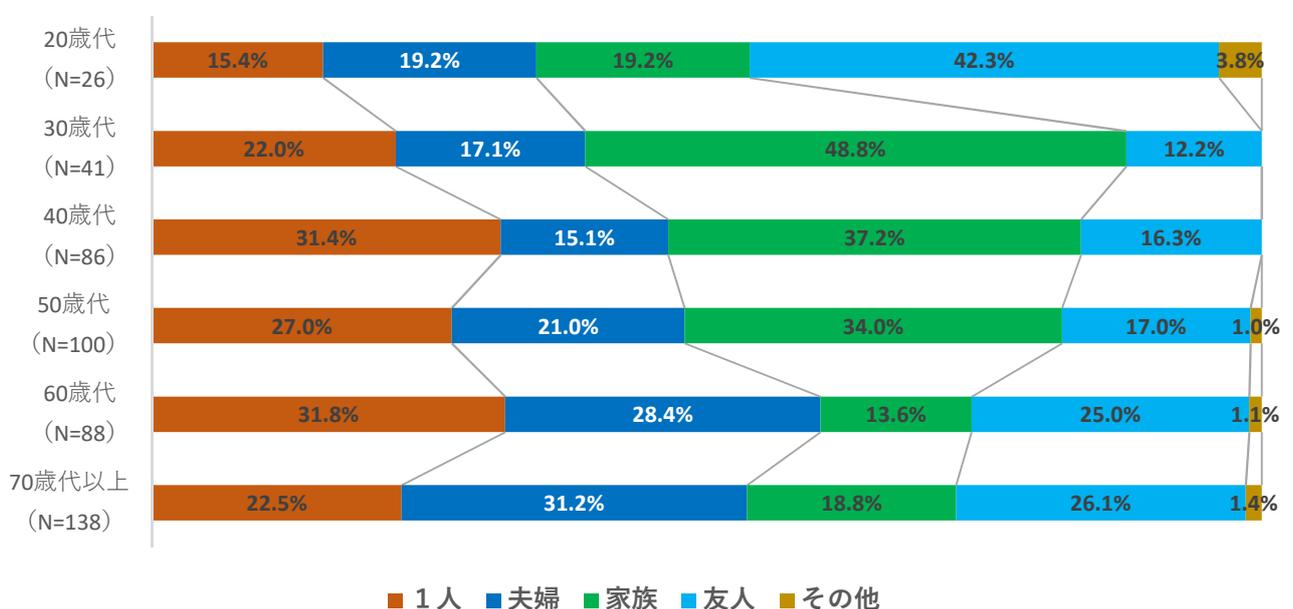
性別にみると、男性は「夫婦」(34.0%)の回答が最も多く、女性は「家族」(31.5%)や「友人」(30.3%)の回答が多い。

年齢別にみると、30歳代から50歳代では「家族」の回答が最も多く、60歳代以上は、「家族」以外の回答が2割を超えているものが多い。

【性別】

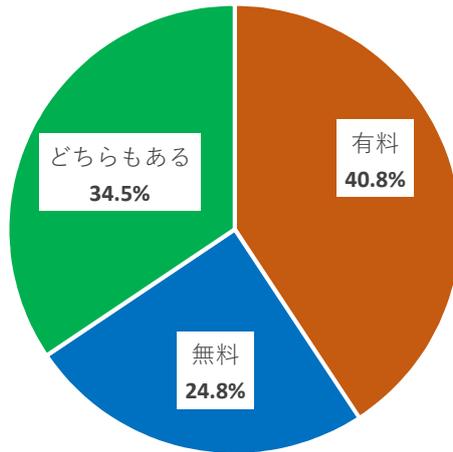


【年齢別】



問9-4

問9-1で「鑑賞した」と回答した方にお聞きします。鑑賞した催し等は有料でしたか無料でしたか。



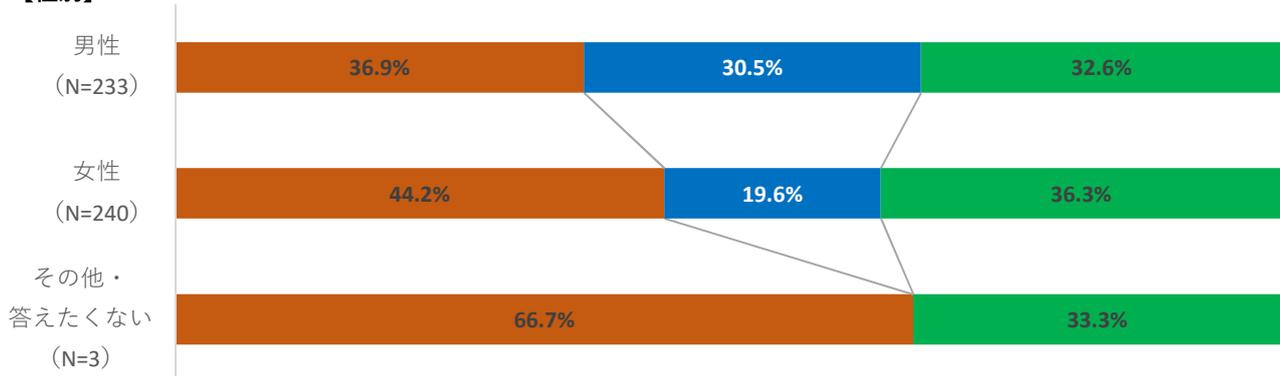
N = 476

鑑賞した催し等が有料か無料については「有料」（40.8％）が最も多く、次いで「どちらもある」（34.5％）となっている。

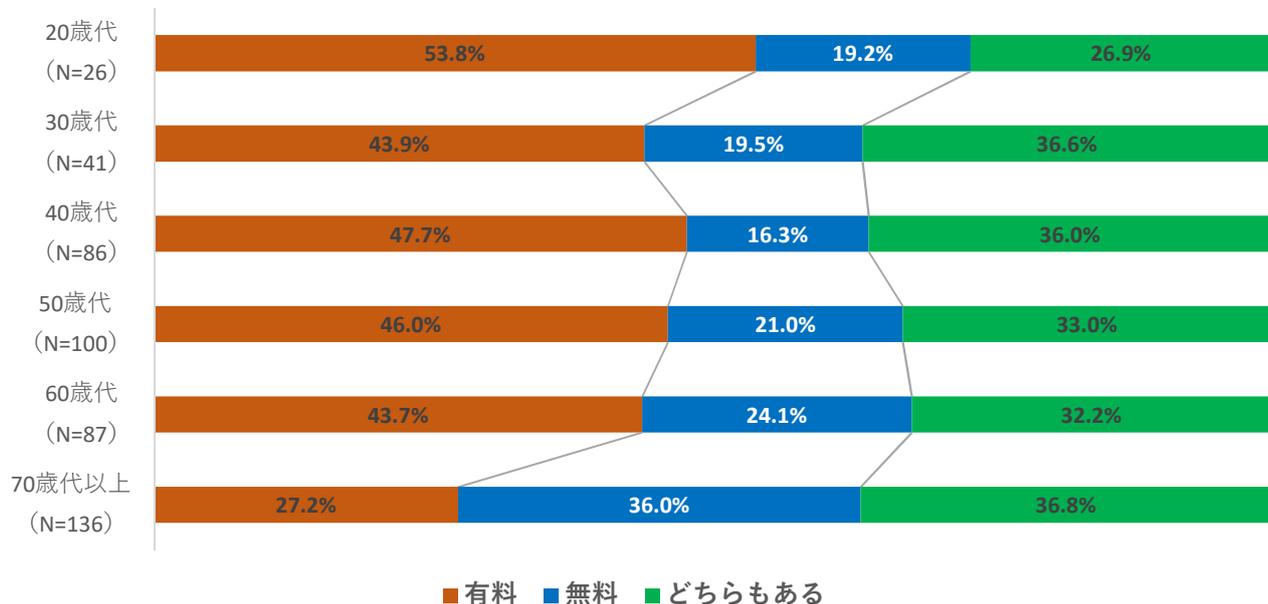
性別にみると、女性の方が「有料」（44.2％）の回答が男性よりも多い。

年齢別にみると、20歳代から60歳代にかけて「有料」の回答率が4割を超えている。

【性別】



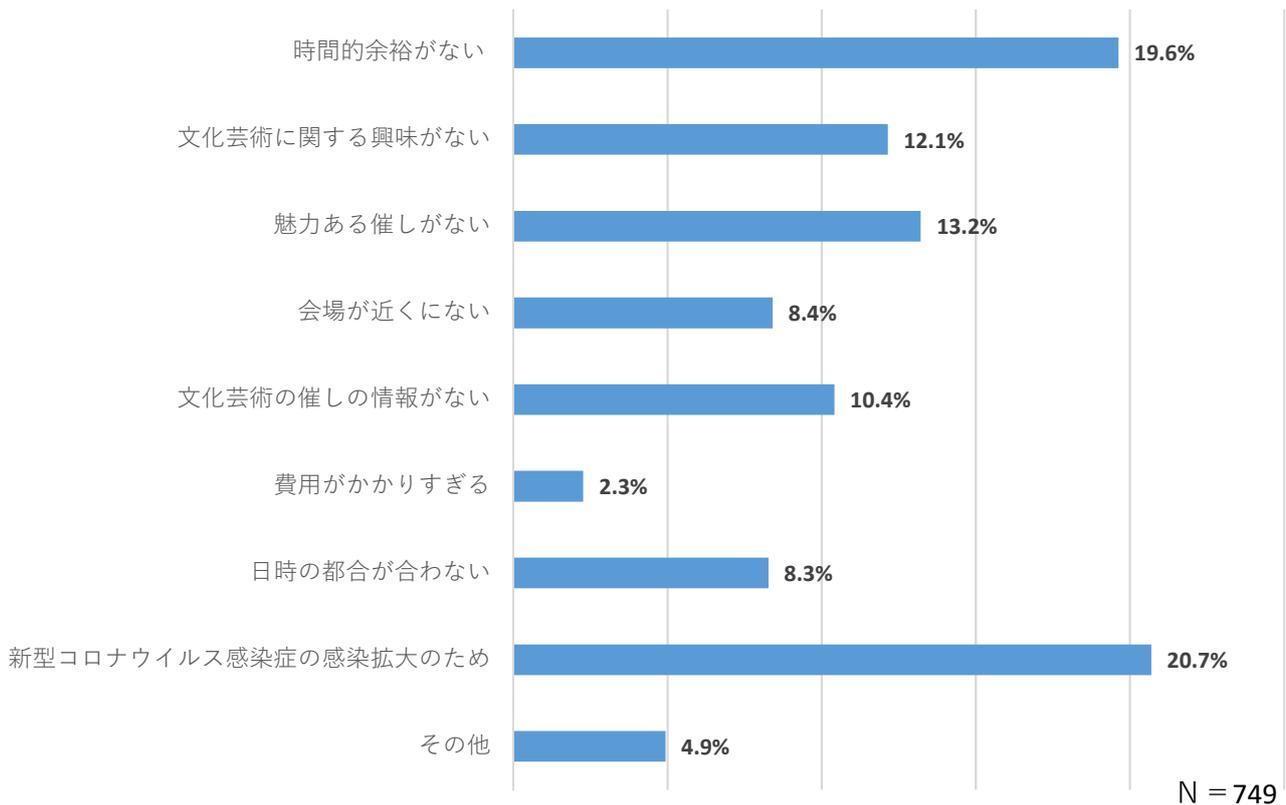
【年齢別】



■ 有料 ■ 無料 ■ どちらもある

問9-5

問9-1で「鑑賞していない」と回答した方にお聞きします。鑑賞しなかった理由を教えてください。（複数回答）

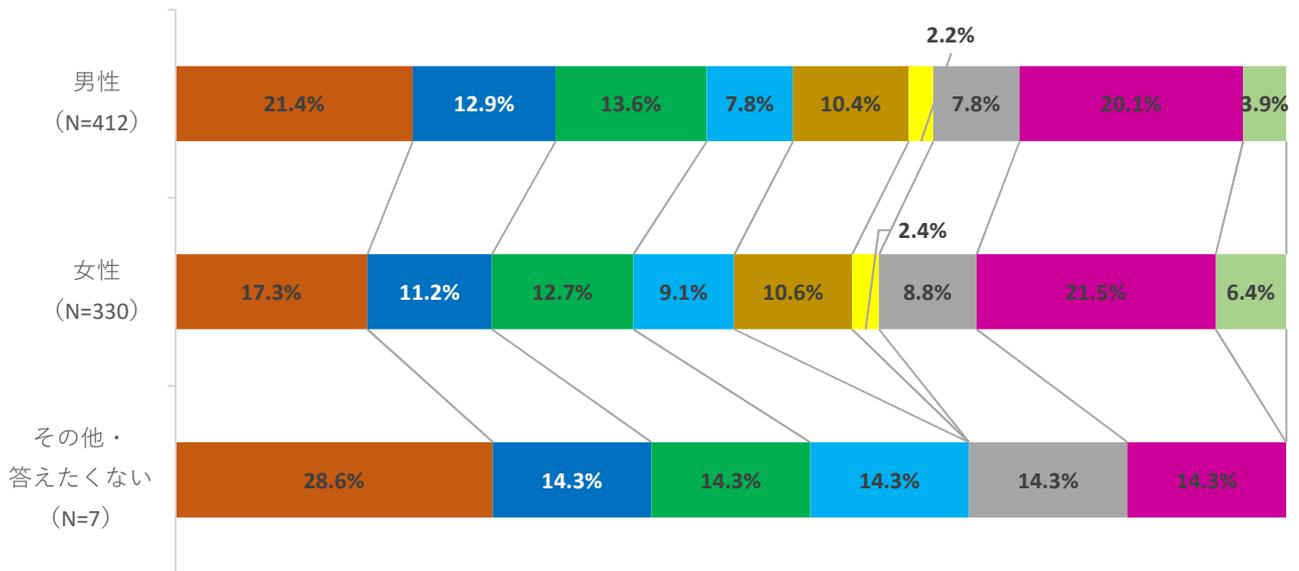


鑑賞しなかった理由について、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」（20.7%）が最も多く、新型コロナウイルス感染症が鑑賞の機会の妨げになっていたことが窺える。

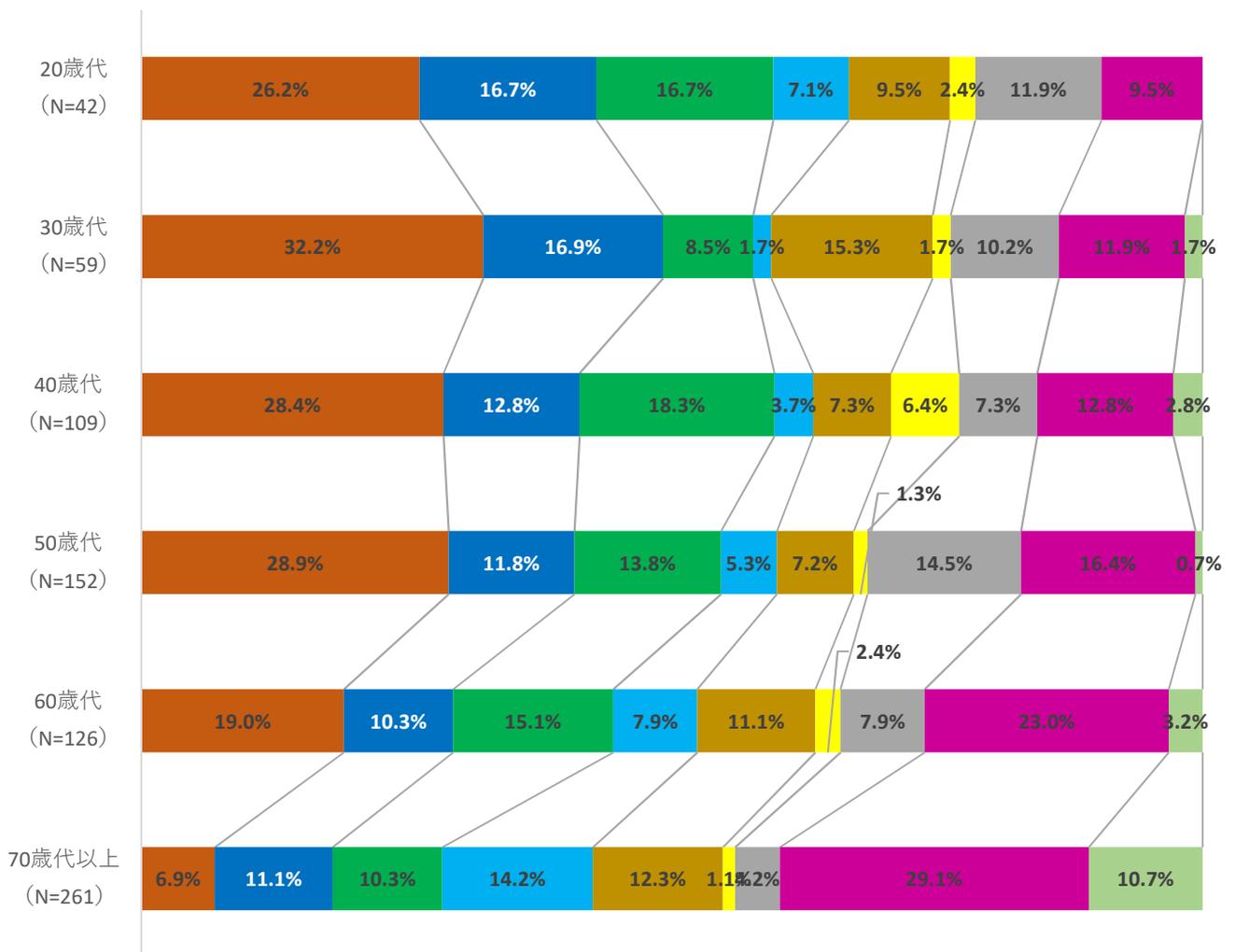
性別にみると、男性では「時間的余裕がない」（21.4%）が最も多く、女性では「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」（21.5%）が最も多い。項目ごとに大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、20歳代から50歳代までは「時間的余裕がない」等の項目の回答が「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」より多いが、60歳代以上では、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」の回答が最も多い。また、年齢が上がるごとに「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」の回答率が多くなっているため、重症化のリスク等の要因が鑑賞を控える要因になったと推測される。

【性別】



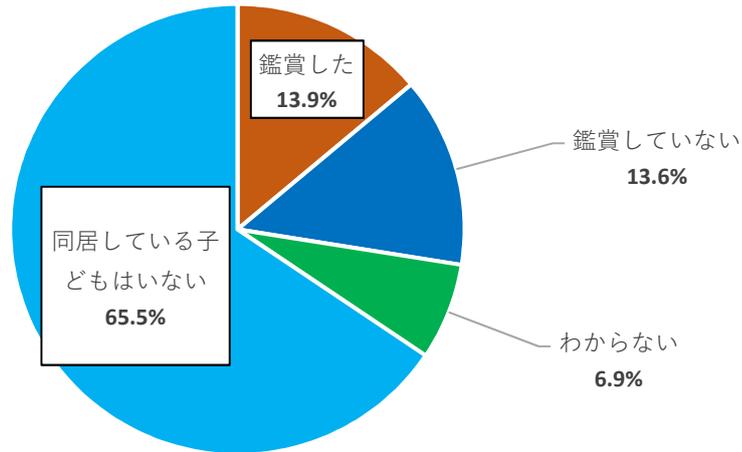
【年齢別】



- 時間的余裕がない
- 文化芸術に関する興味がない
- 魅力ある催しがない
- 会場が近くにない
- 文化芸術の催しの情報がない
- 費用がかかりすぎる
- 日時の都合が合わない
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため
- その他

問10-1

あなたと同居している子ども（18歳未満）は、この1年間に文化芸術の催し等を鑑賞しましたか。



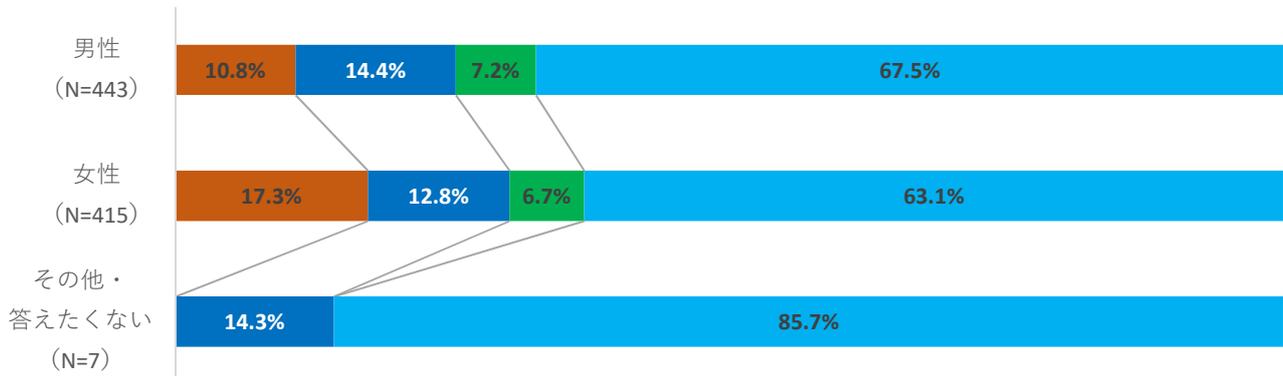
N = 865

同居している子どもが文化芸術の催し等を鑑賞したかについて、「同居している子どもはいない」（65.5%）が最も多く、次いで「鑑賞した」（13.9%）となっている。

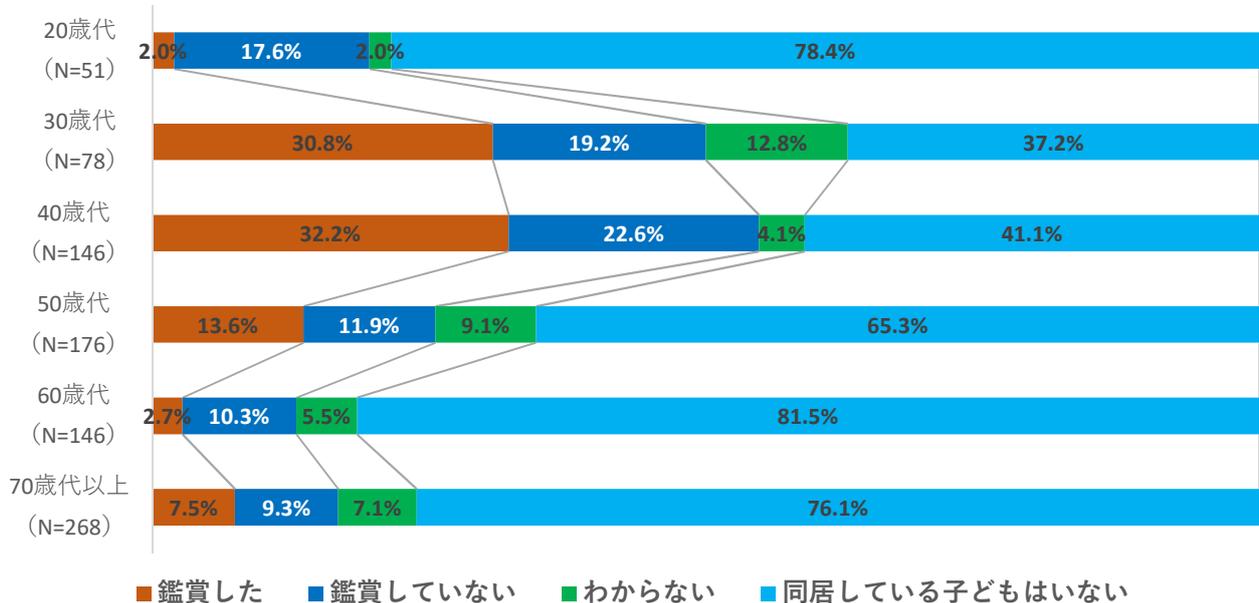
性別にみると、「鑑賞した」は女性の回答が男性より少し多い。

年齢別にみると、30歳代から40歳代は5割以上が子どもと同居しており、その内の約半数が文化芸術の催し等を鑑賞している。

【性別】

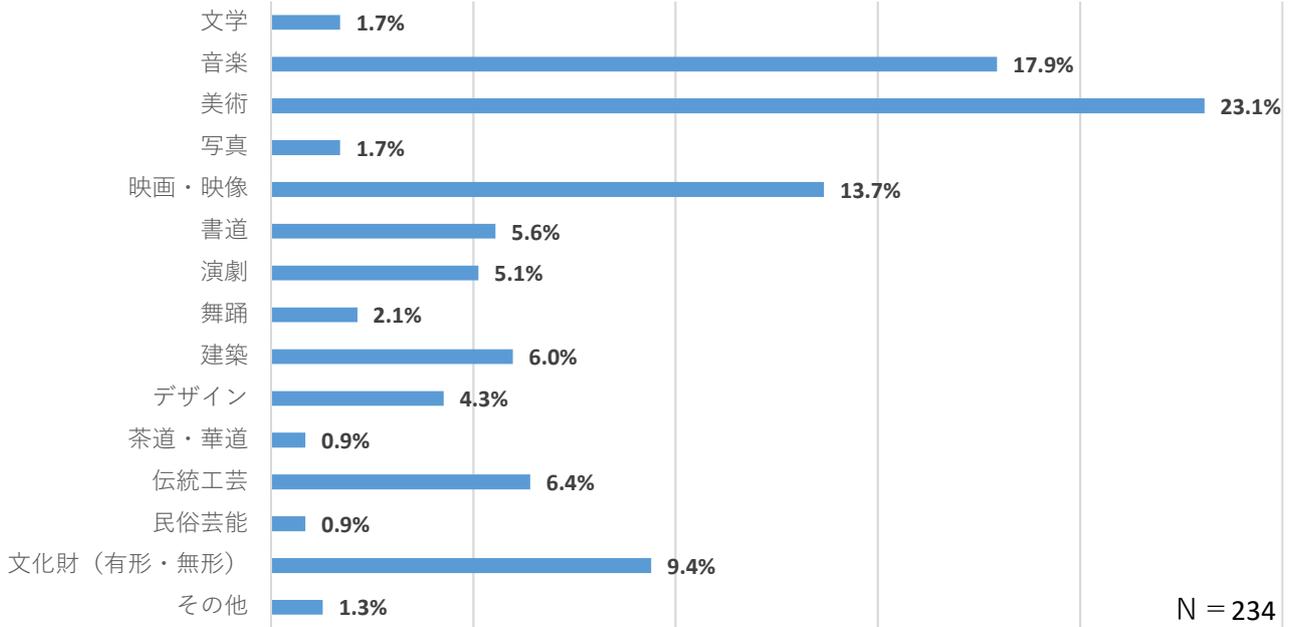


【年齢別】



■ 鑑賞した ■ 鑑賞していない ■ わからない ■ 同居している子どもはいない

問10-2 問10-1で同居している子どもが「鑑賞した」と回答した方にお聞きします。どのような催し等を鑑賞しましたか。（複数回答）



どのような催し等を鑑賞したかについて、「美術」（23.1%）や「音楽」（17.9%）の回答が多く、問9-2の回答と似ていることから、家族で文化芸術を鑑賞していると推測できる。

性別でみると、回答に大きな差はない。

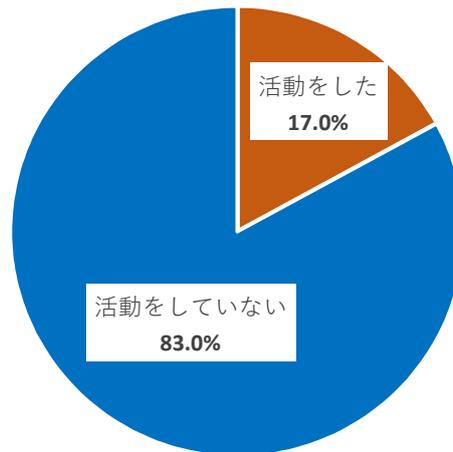
年齢別にみると、30歳代以上において「美術」や「音楽」がそれぞれ回答率の約2割を占めている。

		文学	音楽	美術	写真	映画・映像	書道	演劇	舞踊
性別	男性 (N=90)	1.1%	15.6%	21.1%	1.1%	16.7%	4.4%	6.7%	1.1%
	女性 (N=144)	2.1%	19.4%	24.3%	2.1%	11.8%	6.3%	4.2%	2.8%
	その他・答えたくない (N=0)	—	—	—	—	—	—	—	—
年齢別	20歳代 (N=1)	—	—	100.0%	—	—	—	—	—
	30歳代 (N=49)	4.1%	16.3%	18.4%	4.1%	10.2%	4.1%	8.2%	2.0%
	40歳代 (N=88)	—	17.0%	28.4%	—	11.4%	8.0%	2.3%	1.1%
	50歳代 (N=47)	2.1%	21.3%	19.1%	4.3%	21.3%	4.3%	8.5%	2.1%
	60歳代 (N=9)	—	22.2%	22.2%	—	—	—	11.1%	—
	70歳代以上 (N=40)	2.5%	17.5%	20.0%	—	17.5%	5.0%	2.5%	5.0%

		建築	デザイン	茶道・華道	伝統工芸	民俗芸能	文化財（有形・無形）	その他
性別	男性 (N=90)	7.8%	3.3%	1.1%	6.7%	1.1%	10.0%	2.2%
	女性 (N=144)	4.9%	4.9%	0.7%	6.3%	0.7%	9.0%	0.7%
	その他・答えたくない (N=0)	—	—	—	—	—	—	—
年齢別	20歳代 (N=1)	—	—	—	—	—	—	—
	30歳代 (N=49)	10.2%	6.1%	—	2.0%	—	14.3%	—
	40歳代 (N=88)	6.8%	3.4%	2.3%	6.8%	1.1%	9.1%	2.3%
	50歳代 (N=47)	2.1%	2.1%	—	8.5%	—	2.1%	2.1%
	60歳代 (N=9)	11.1%	11.1%	—	—	—	22.2%	—
	70歳代以上 (N=40)	2.5%	5.0%	—	10.0%	2.5%	10.0%	—

問11-1

あなたは、この1年間に、御自分で演じたり、作ったり、描いたりなどの文化芸術活動をしましたか。



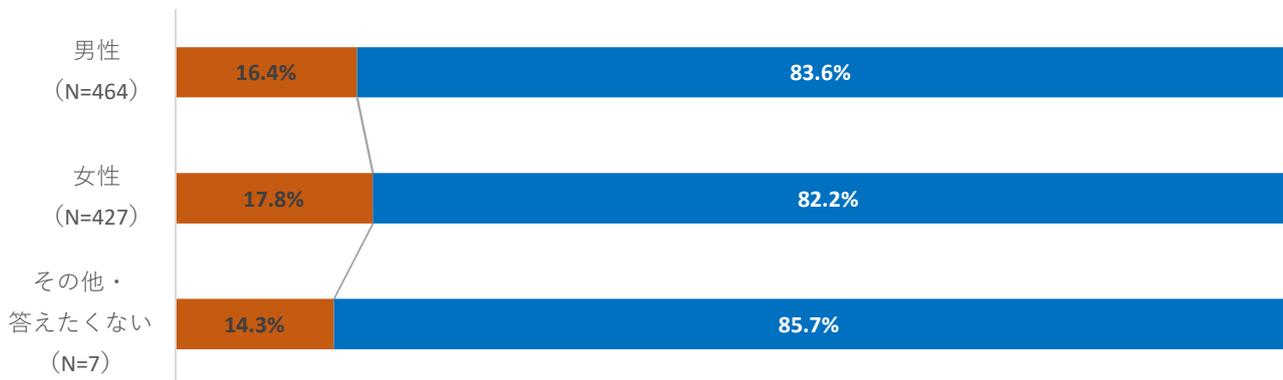
N = 898

この1年間に、文化芸術活動をしたかについて、「活動をしていない」が83.0%となっている。

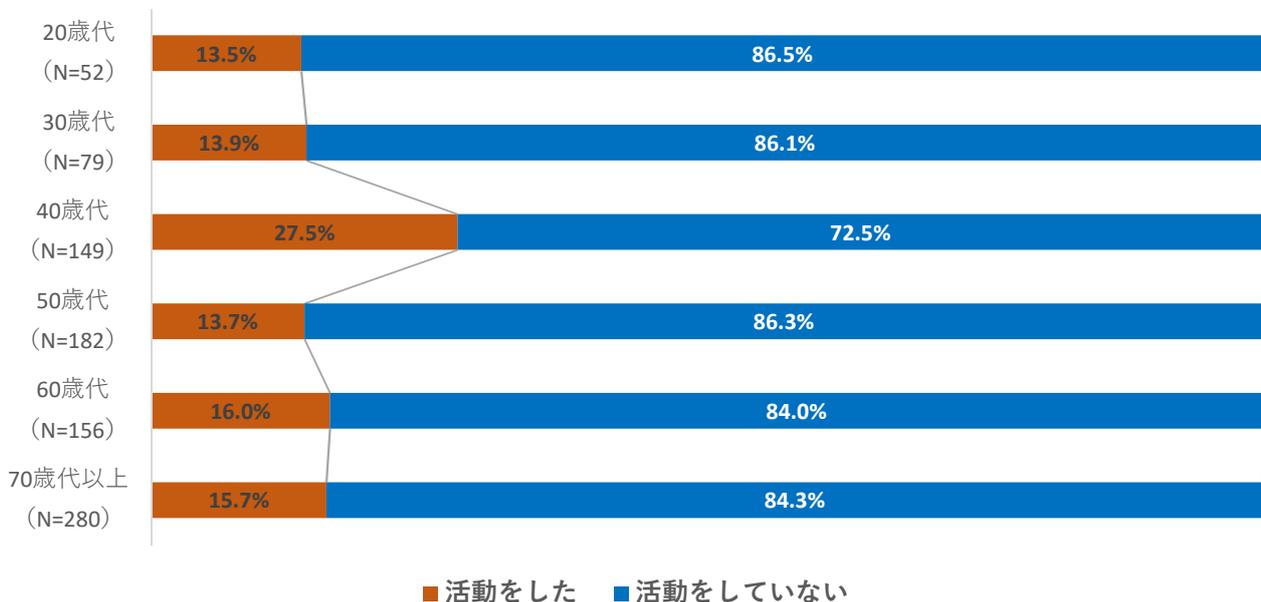
性別にみると、女性の方が僅かながら、「活動をした」の回答率が高い。

年齢別にみると、40歳代の「活動をした」の回答率が約3割となっている。

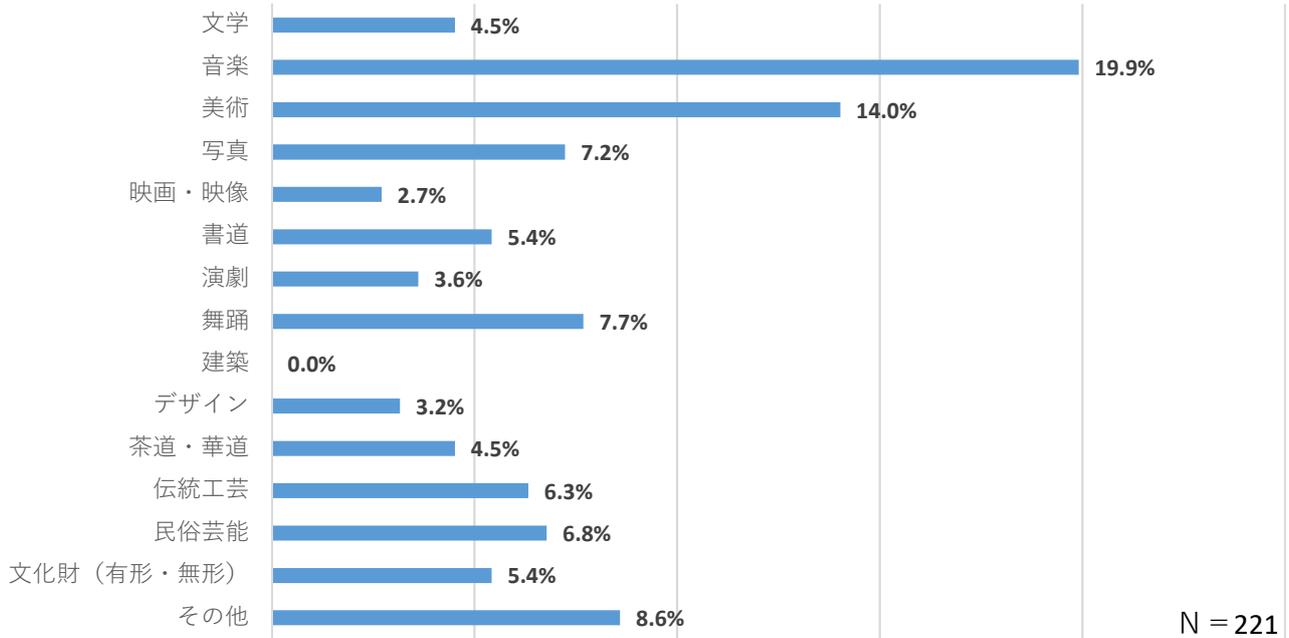
【性別】



【年齢別】



問11-2 問11-1で「活動をした」と回答した方にお聞きします。どのような活動をしましたか。（複数回答）



活動の内容について、「音楽」（19.9%）や「美術」（14.0%）の回答が多くなっている。

性別にみると、男女ともに「音楽」の回答が多いものの、「華道・茶道」では女性の、「写真」では男性の割合が5.0ポイント以上高い。

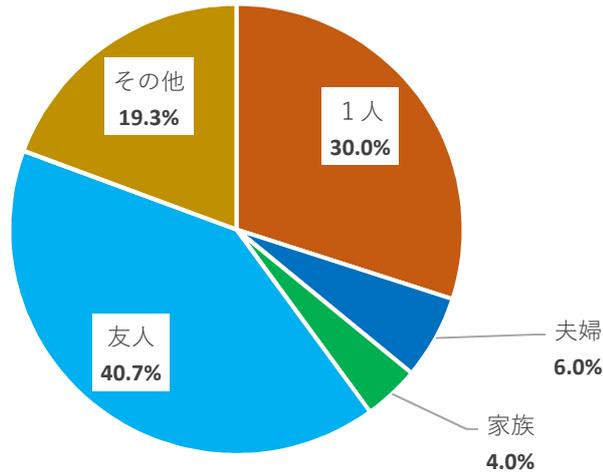
年齢別にみると、20歳代から60歳代は「音楽」の回答が多く、70歳代以上では「美術」の回答が多くなっている。

		文学	音楽	美術	写真	映画・映像	書道	演劇	舞踊
性別	男性 (N=120)	5.0%	22.5%	15.0%	10.8%	1.7%	3.3%	3.3%	6.7%
	女性 (N=100)	3.0%	17.0%	13.0%	3.0%	4.0%	8.0%	4.0%	9.0%
	その他・答えたくない (N=1)	100.0%	—	—	—	—	—	—	—
年齢別	20歳代 (N=10)	10.0%	40.0%	30.0%	—	—	—	—	10.0%
	30歳代 (N=15)	6.7%	20.0%	13.3%	13.3%	6.7%	—	13.3%	6.7%
	40歳代 (N=60)	5.0%	20.0%	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	6.7%	5.0%
	50歳代 (N=36)	—	22.2%	11.1%	5.6%	2.8%	5.6%	—	5.6%
	60歳代 (N=36)	2.8%	22.2%	11.1%	8.3%	—	—	5.6%	11.1%
	70歳代以上 (N=64)	6.3%	14.1%	18.8%	9.4%	1.6%	10.9%	0.0%	9.4%

		建築	デザイン	茶道・華道	伝統工芸	民俗芸能	文化財（有形・無形）	その他
性別	男性 (N=120)	0.0%	2.5%	0.8%	5.8%	8.3%	6.7%	7.5%
	女性 (N=100)	0.0%	4.0%	9.0%	7.0%	5.0%	4.0%	10.0%
	その他・答えたくない (N=1)	—	—	—	—	—	—	—
年齢別	20歳代 (N=10)	—	10.0%	—	—	—	—	—
	30歳代 (N=15)	—	6.7%	6.7%	6.7%	—	—	—
	40歳代 (N=60)	—	3.3%	3.3%	3.3%	10.0%	10.0%	8.3%
	50歳代 (N=36)	—	2.8%	8.3%	5.6%	13.9%	2.8%	13.9%
	60歳代 (N=36)	—	5.6%	2.8%	13.9%	5.6%	5.6%	5.6%
	70歳代以上 (N=64)	—	—	4.7%	6.3%	3.1%	4.7%	10.9%

問11-3

問 1 1 - 1 で「活動をした」と回答した方にお聞きします。どなたと御一緒に活動されましたか。



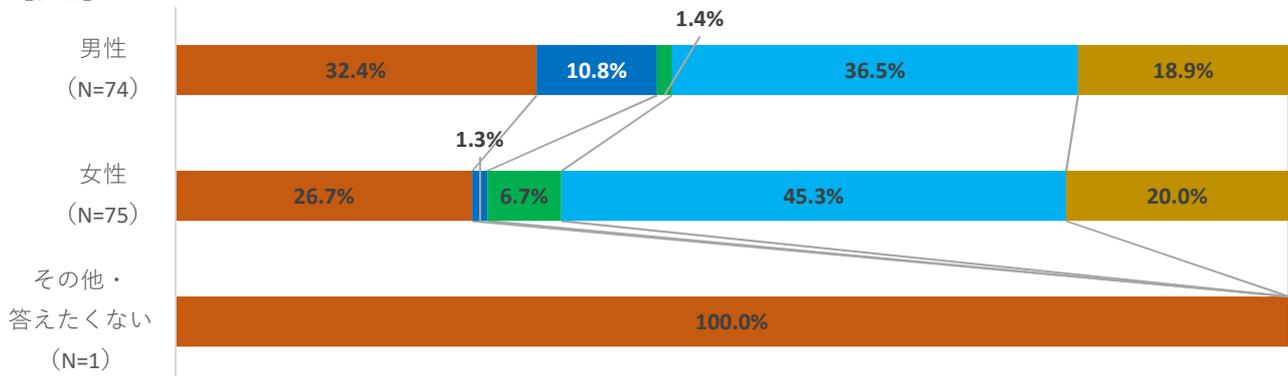
N = 180

どなたと一緒に活動したかについて、「友人」（40.7％）の回答が最も多い。

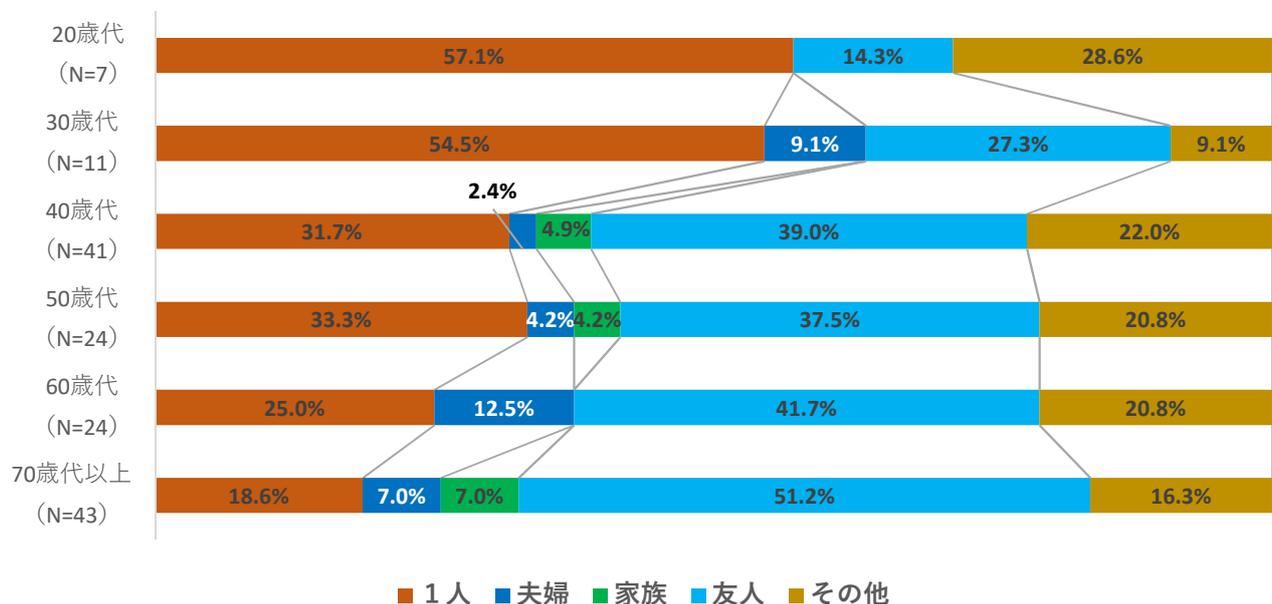
性別にみると、男女ともに「友人」が約4割を占めている。

年齢別にみると、20歳代から30歳代は「1人」の回答が多いが、40歳代以上では「友人」の回答が多くなっている。

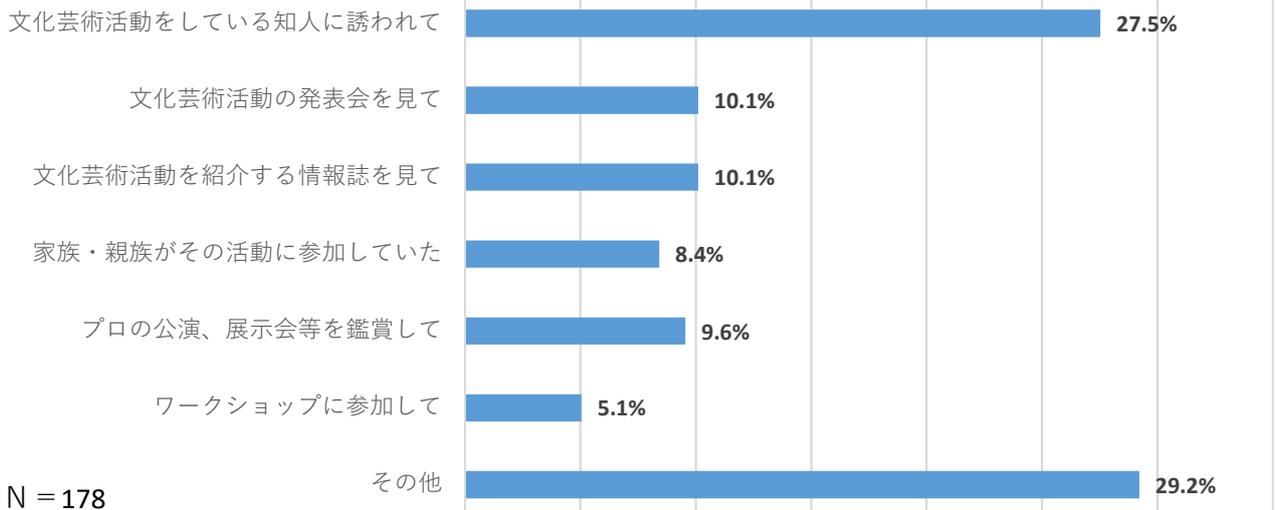
【性別】



【年齢別】



問11-4 問11-1で「活動をした」と回答した方にお聞きします。活動をはじめるときかけとなった理由を教えてください。（複数回答）

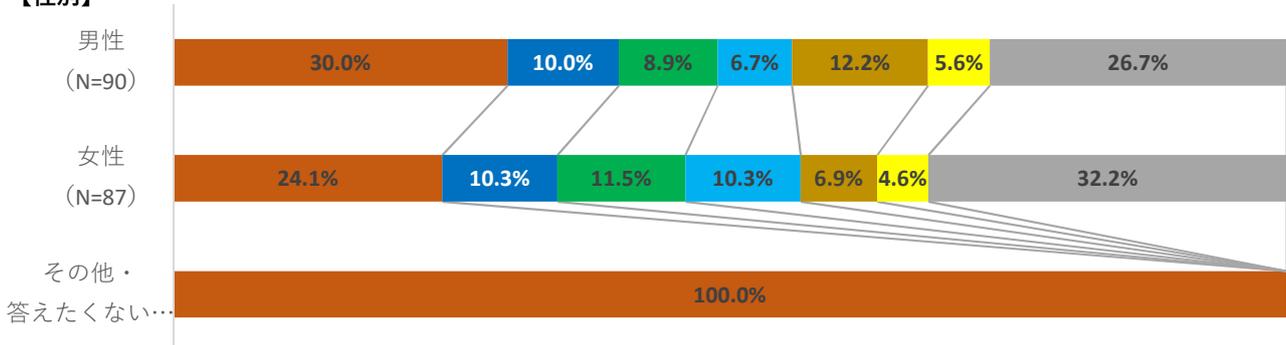


活動をはじめるときかけとなった理由について、「その他」（29.2%）が最も多く、次いで「文化芸術活動をしている知人に誘われて」（27.5%）が多い。

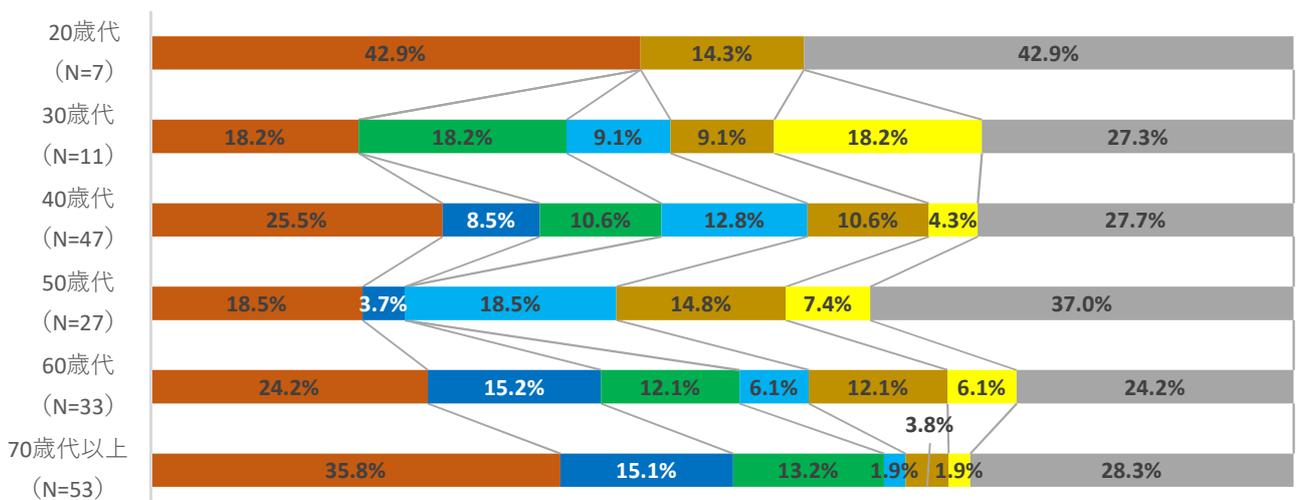
性別でみると、男性は「文化芸術活動をしている知人に誘われて」の回答が最も多いが、女性は「その他」が最も多い。

年齢別にみると、全ての年齢を通して「文化芸術活動をしている知人に誘われて」「その他」の回答が多く、60歳代以上は「文化芸術の発表会を見て」の回答も多くなっている。

【性別】



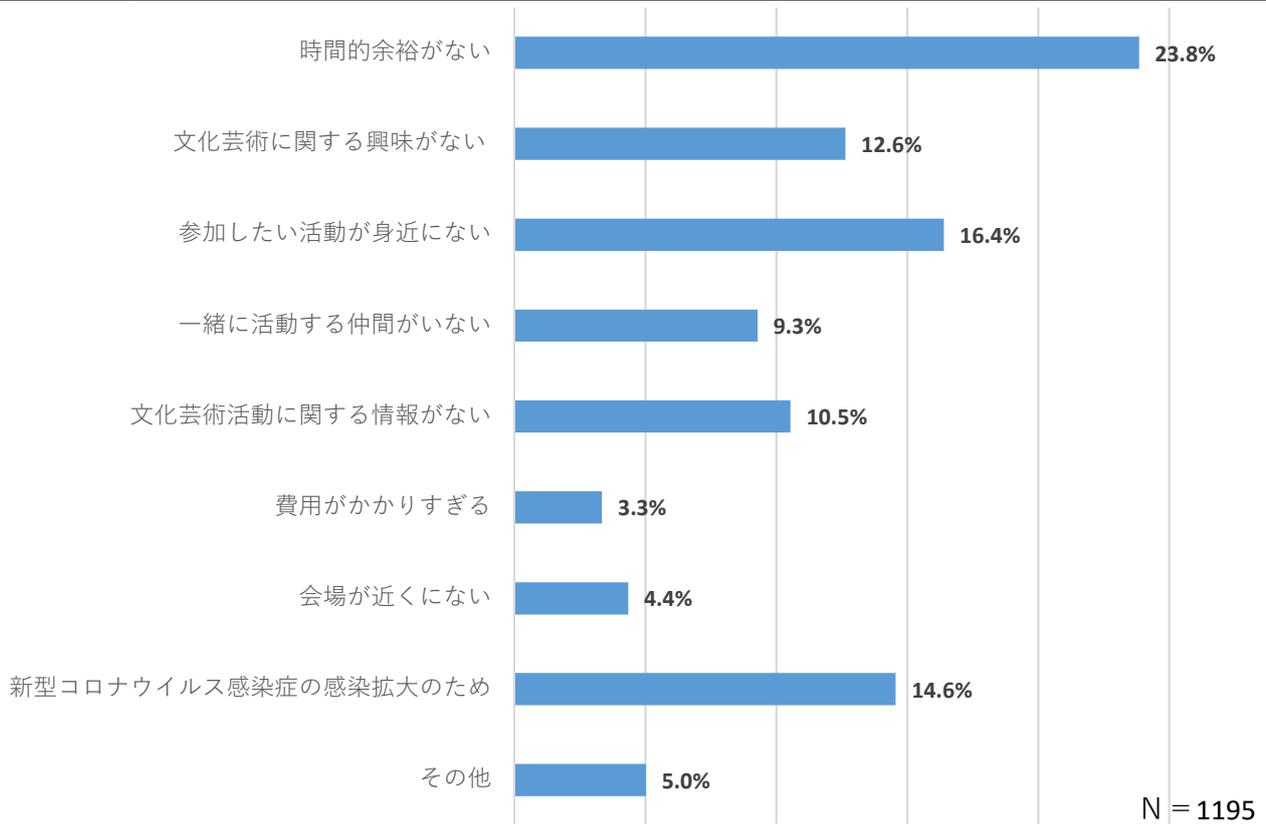
【年齢別】



- 文化芸術活動をしている知人に誘われて
- 文化芸術活動の発表会を見て
- 文化芸術活動を紹介する情報誌を見て
- 家族・親族がその活動に参加していた
- プロの公演、展示会等を鑑賞して
- ワorkshopに参加して
- その他

問11-5

問11-1で「活動をしていない」と回答した方にお聞きします。活動をしていない理由を教えてください。（複数回答）

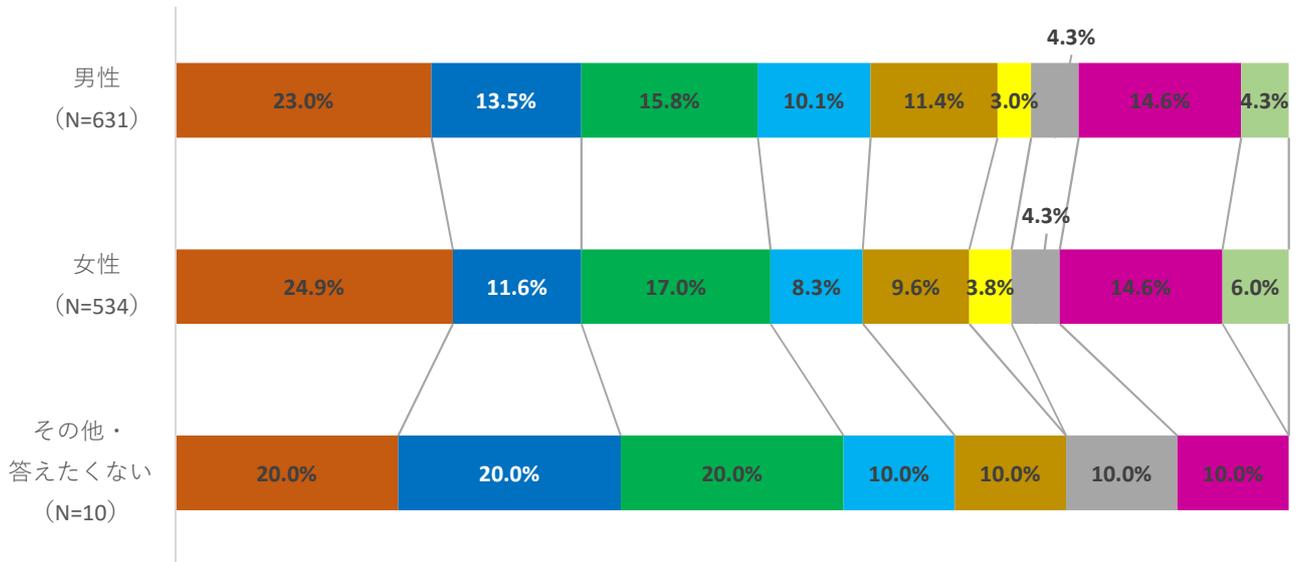


活動をしていない理由について、「時間的余裕がない」（23.8%）が最も多く、次いで「参加したい活動が身近にない」（16.4%）、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」（14.6%）となっている。

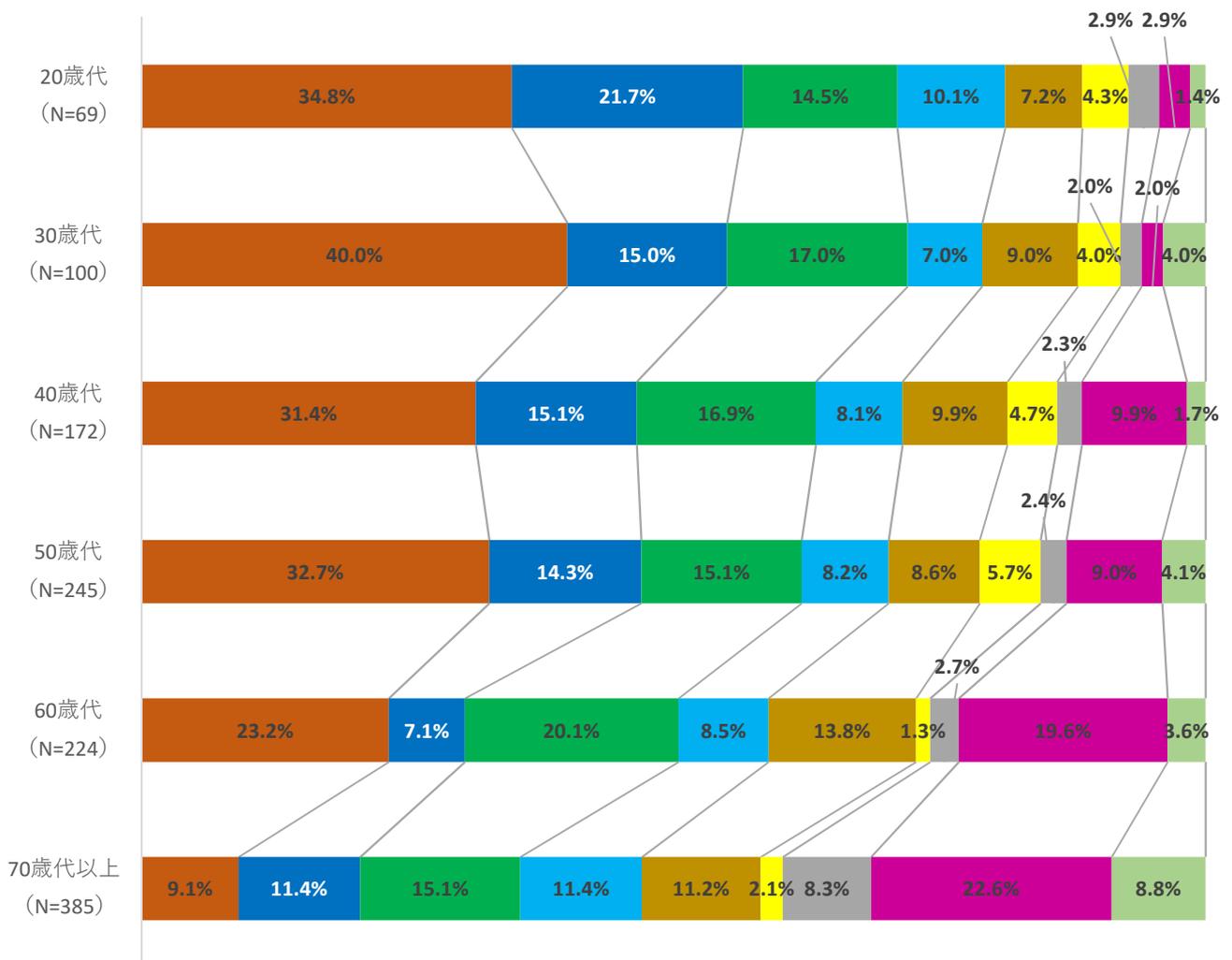
性別にみても、「時間的余裕がない」の回答率が高く、他の項目に関しては、性別によって大きな差はみられない。

年齢別に見ると、70歳代以上を除く全ての世代で「時間的余裕がない」が最も多く、70歳以上では「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」が最も多くなっている。また、年齢が上がっていくにつれ、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため」の回答が増加している。

【性別】

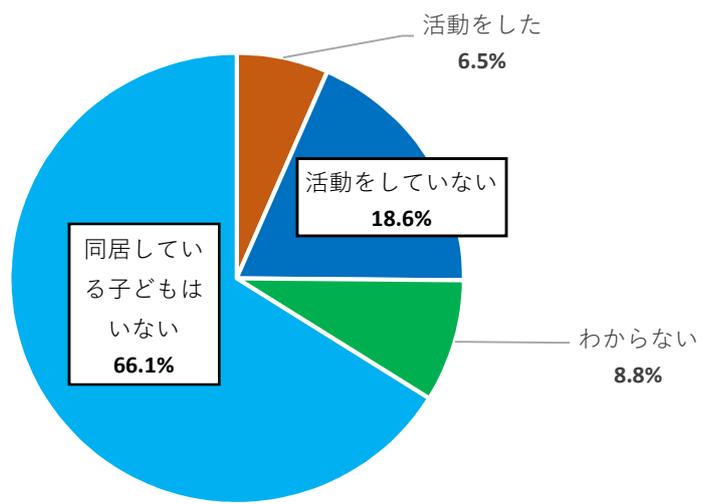


【年齢別】



- 時間的余裕がない
- 文化芸術に関する興味がない
- 参加したい活動が身近にない
- 一緒に活動する仲間がない
- 文化芸術活動に関する情報がない
- 費用がかかりすぎる
- 会場が近くにない
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため
- その他

問12-1 あなたと同居している子ども（18歳未満）は、この1年間に学校以外で文化芸術活動をしましたか。



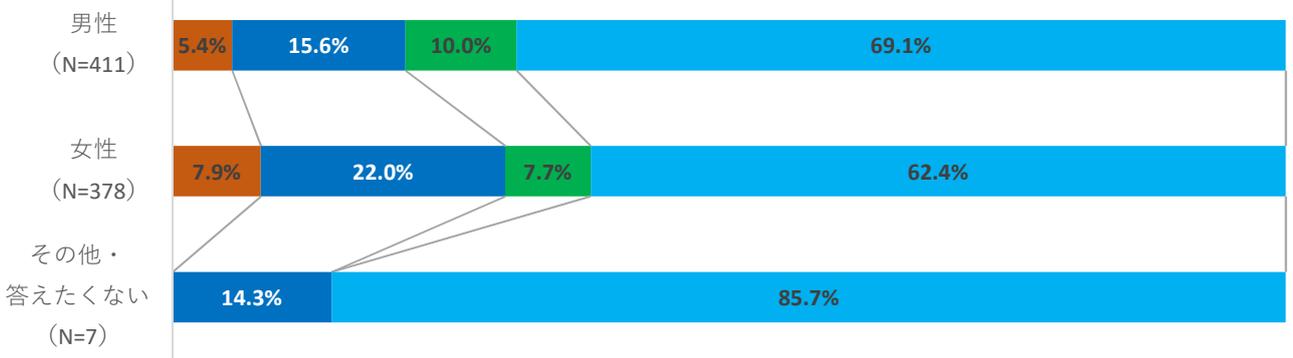
N = 796

同居している子どもが学校以外で文化芸術活動をしたかについて、「同居している子どもはいない」（66.1%）が最も多く、次いで「活動をしていない」（18.6%）となっている。

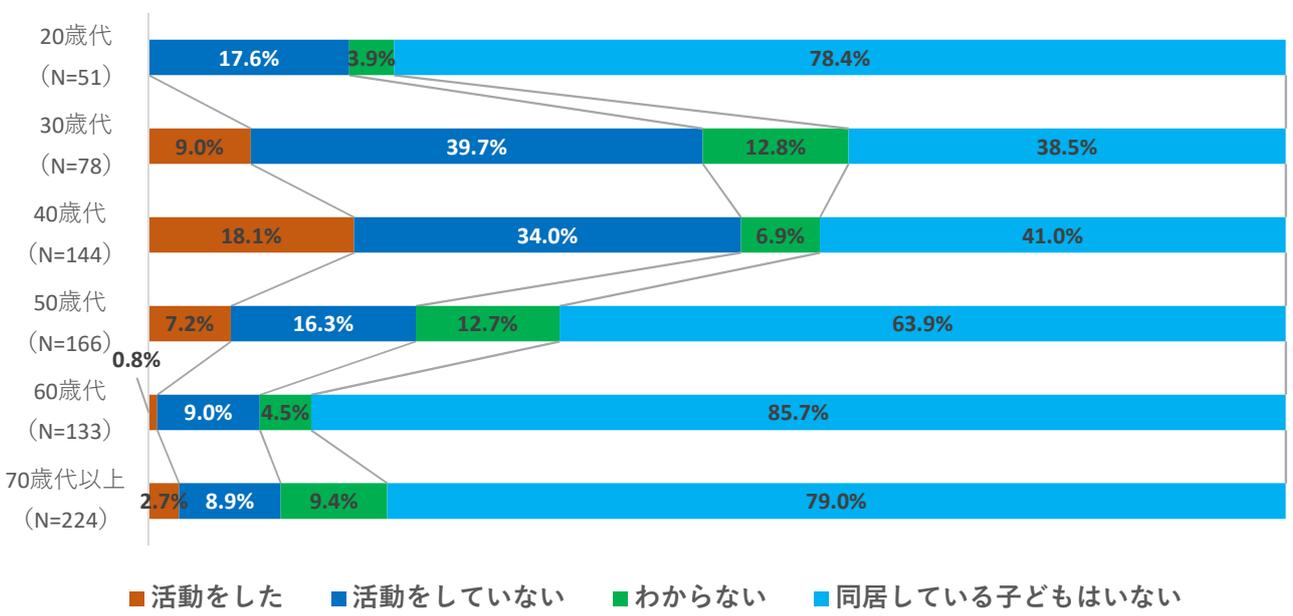
性別にみると、「活動した」、「活動をしていない」は女性の回答が男性より少し多い。

年齢別にみると、30歳代から40歳代は5割以上が子どもと同居しているが、その内の半数以上が「活動をしていない」と回答している。

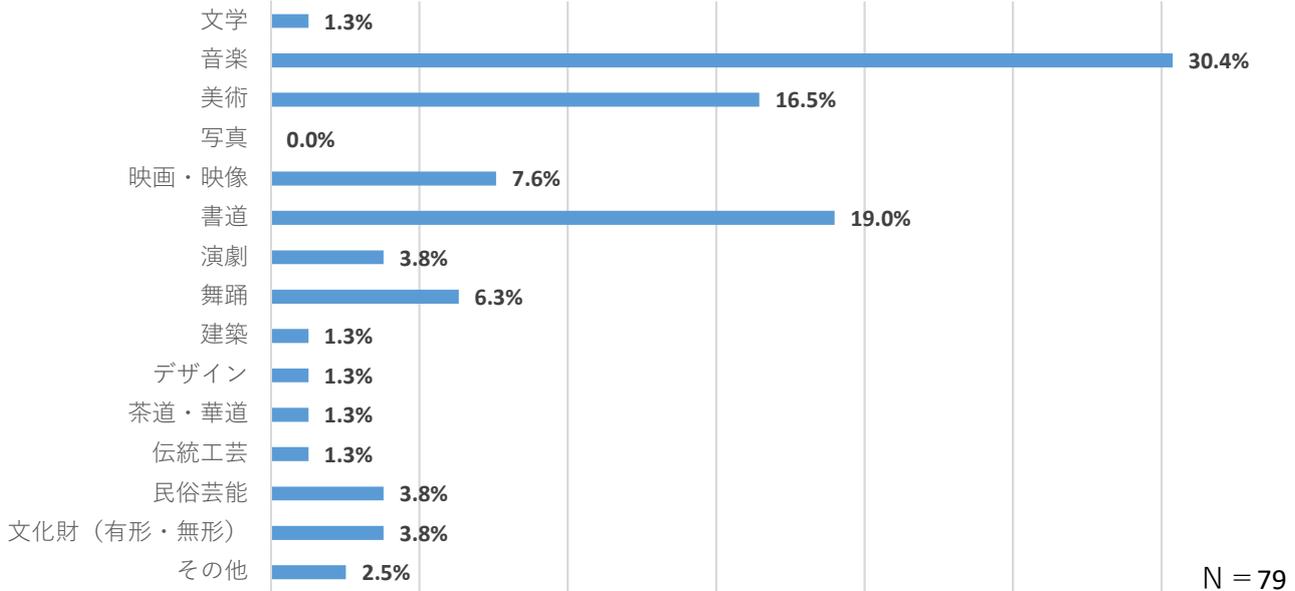
【性別】



【年齢別】



問12-2 あなたと同居している子ども（18歳未満）は、この1年間に学校以外で文化芸術活動をしましたか。



活動の内容について、「音楽」（30.4%）や「書道」（19.0%）の回答が多くなっている。

性別にみると、男女ともに「音楽」の回答が多いものの、女性は「書道」の回答も多い。

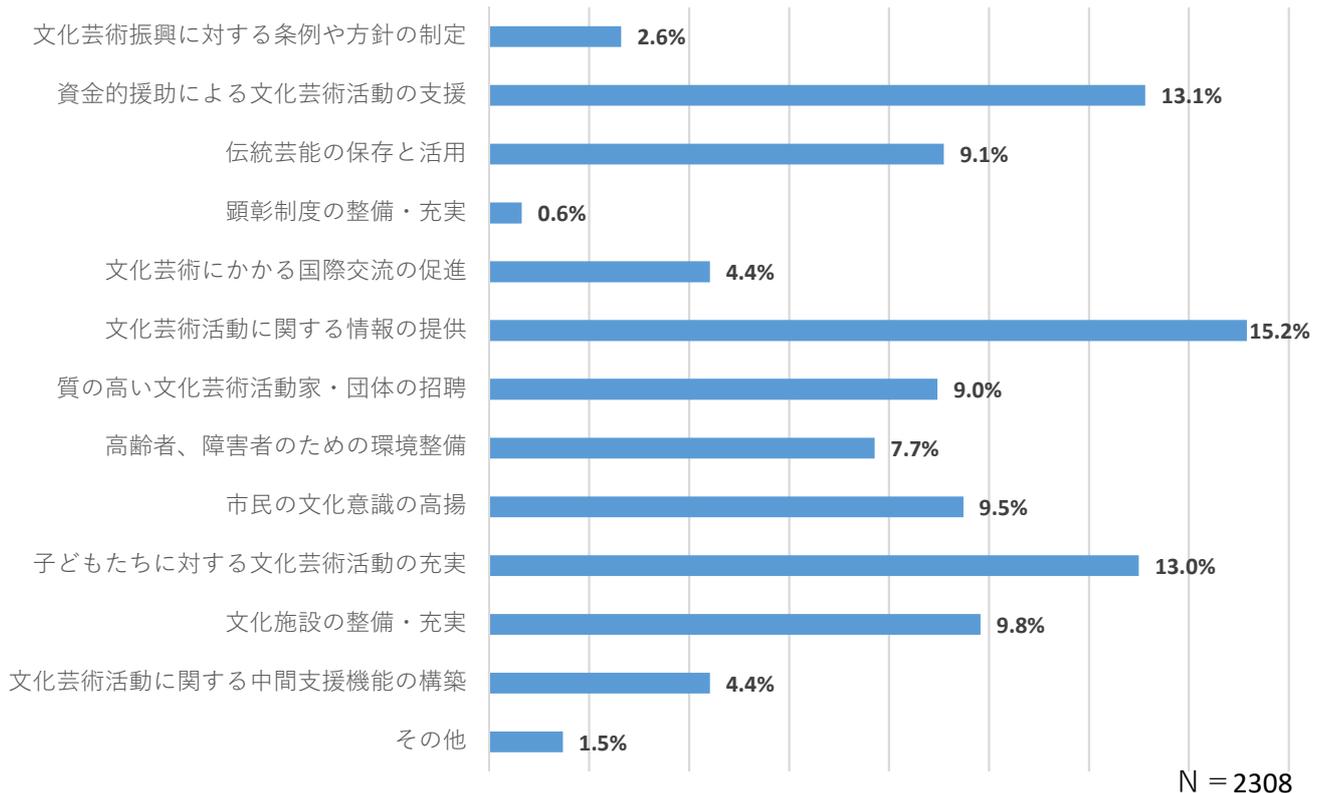
年齢別にみると、「音楽」の回答が多いものの30歳代から40歳代では書道の回答が2割を超え、「音楽」の次に多くなっている。

		文学	音楽	美術	写真	映画・映像	書道	演劇	舞踊
性別	男性 (N=32)	—	25.0%	12.5%	—	9.4%	12.5%	3.1%	6.3%
	女性 (N=47)	2.1%	34.0%	19.1%	—	6.4%	23.4%	4.3%	6.4%
	その他・答えたくない (N=0)	—	—	—	—	—	—	—	—
年齢別	20歳代 (N=0)	—	—	—	—	—	—	—	—
	30歳代 (N=12)	—	33.3%	25.0%	—	—	25.0%	8.3%	8.3%
	40歳代 (N=33)	3.0%	36.4%	12.1%	—	3.0%	24.2%	3.0%	3.0%
	50歳代 (N=19)	—	26.3%	21.1%	—	15.8%	15.8%	5.3%	10.5%
	60歳代 (N=2)	—	—	—	—	—	—	—	—
	70歳代以上 (N=13)	—	23.1%	15.4%	—	15.4%	7.7%	—	7.7%

		建築	デザイン	茶道・華道	伝統工芸	民俗芸能	文化財（有形・無形）	その他
性別	男性 (N=32)	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	9.4%	6.3%	3.1%
	女性 (N=47)	—	—	—	—	—	2.1%	2.1%
	その他・答えたくない (N=0)	—	—	—	—	—	—	—
年齢別	20歳代 (N=0)	—	—	—	—	—	—	—
	30歳代 (N=12)	—	—	—	—	—	—	—
	40歳代 (N=33)	—	—	3.0%	—	6.1%	3.0%	3.0%
	50歳代 (N=19)	—	—	—	—	—	—	5.3%
	60歳代 (N=2)	—	—	—	—	50.0%	50.0%	—
	70歳代以上 (N=13)	7.7%	7.7%	—	7.7%	—	7.7%	—

問13

あなたは、市民の文化芸術活動がもっと盛んになるために、市が行うものとして何が必要だと思いますか。（複数回答）

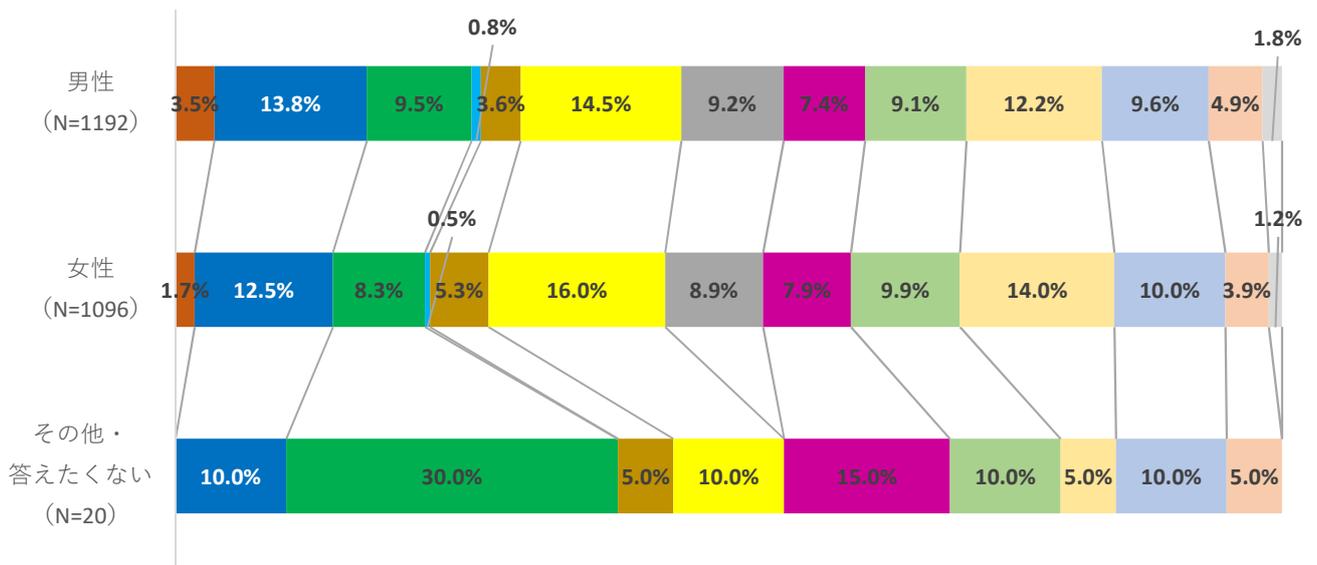


市民の文化芸術活動がもっと盛んになるために、市が行うものとして何が必要かについて、「文化芸術活動に関する情報の提供」（15.2%）や「資金的援助による文化芸術活動の支援」（13.1%）、「子どもたちに対する文化芸術活動の充実」（13.0%）の回答が多くなっている。

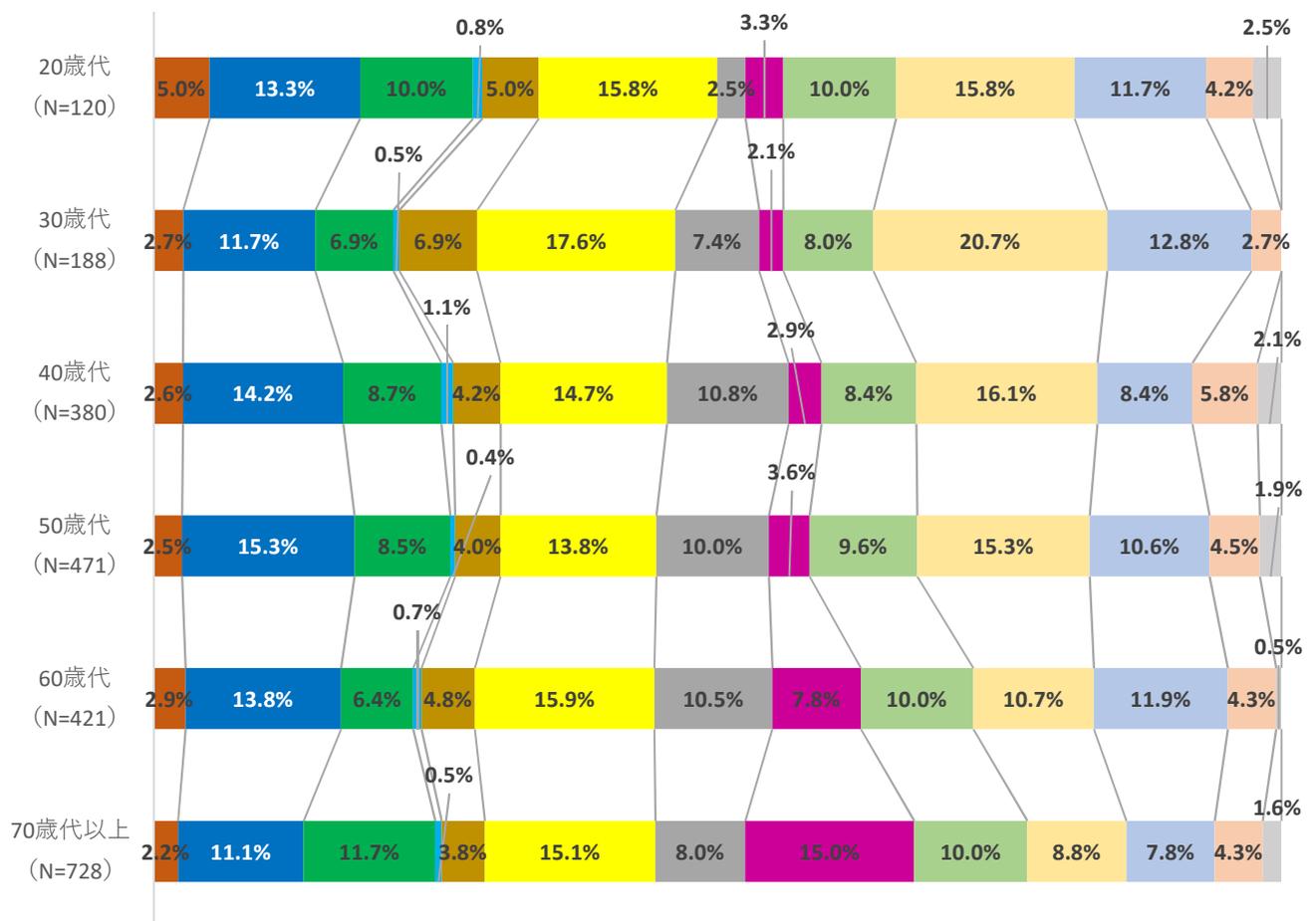
性別にみると、男女ともに「文化芸術活動に関する情報の提供」の回答が多い。次いで回答が多いのは男性は「資金的援助による文化芸術活動の支援」だが、女性は「子どもたちに対する文化芸術活動の充実」となっている。

年齢別にみると、20歳代から40歳代の回答は「文化芸術活動に関する情報の提供」や「子どもたちに対する文化芸術活動の充実」が多い。60歳代から70歳代以上では「高齢者、障害者のための環境整備」の回答が他の年代に比べ多くなっている。

【性別】



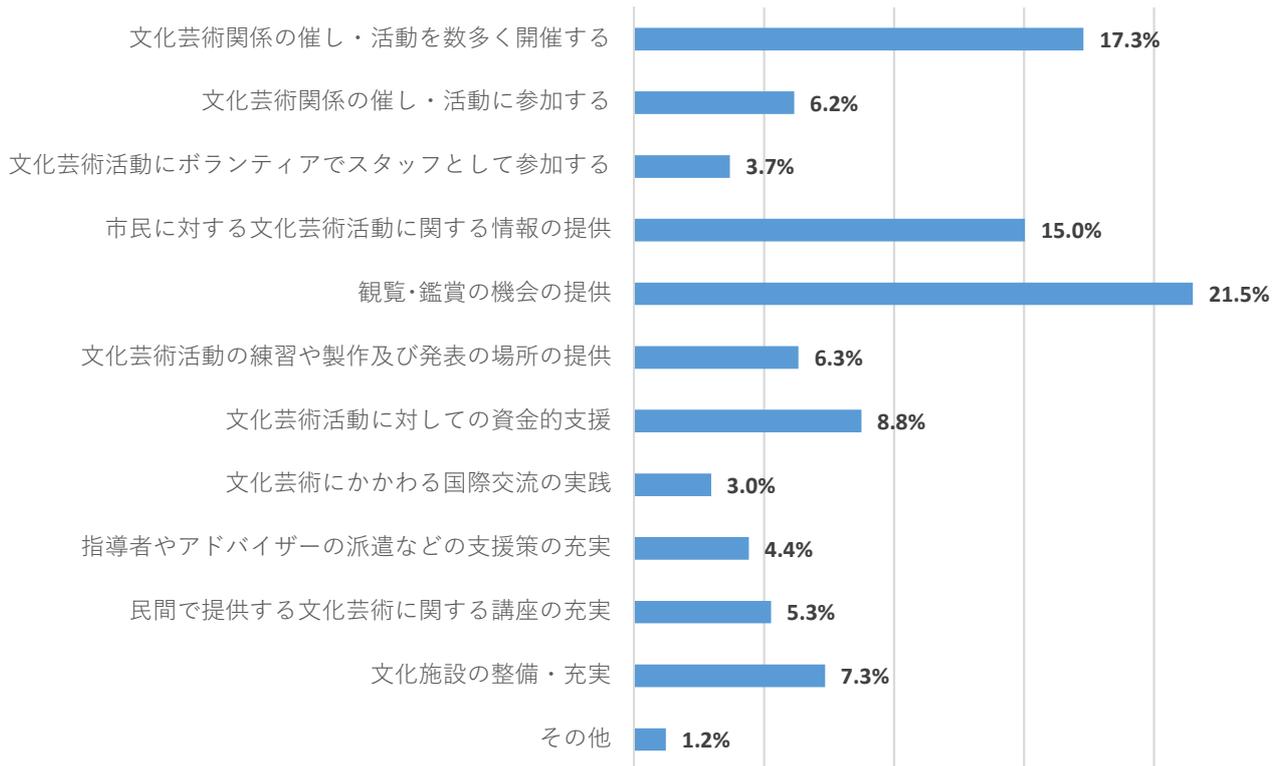
【年齢別】



- 文化芸術振興に対する条例や方針の制定
- 伝統芸能の保存と活用
- 文化芸術にかかる国際交流の促進
- 質の高い文化芸術活動家・団体の招聘
- 市民の文化意識の高揚
- 文化施設の整備・充実
- その他
- 資金的援助による文化芸術活動の支援
- 顕彰制度の整備・充実
- 文化芸術活動に関する情報の提供
- 高齢者、障害者のための環境整備
- 子どもたちに対する文化芸術活動の充実
- 文化芸術活動に関する中間支援機能の構築

問14

あなたは、市民の文化芸術活動がもっと盛んになるために、市民や文化芸術団体、企業などの民間が行うものとして何が必要だと思いますか。（複数回答）



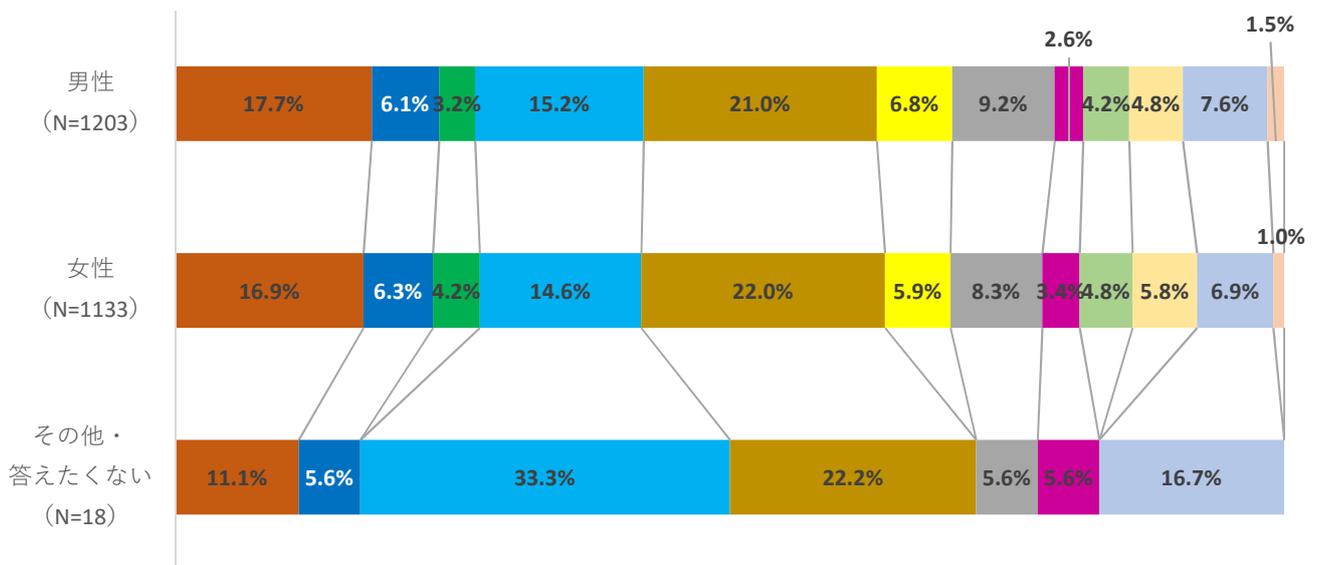
N = 2354

市民の文化芸術活動がもっと盛んになるために、市民や文化団体、企業などの民間が行うものとして何が必要だと思うかについて、「観覧・鑑賞の機会の提供」（21.5%）や「文化芸術関係の催し・活動を数多く開催する」（17.3%）、「市民に対する文化芸術活動に関する情報の提供」（15.0%）の回答が多い。

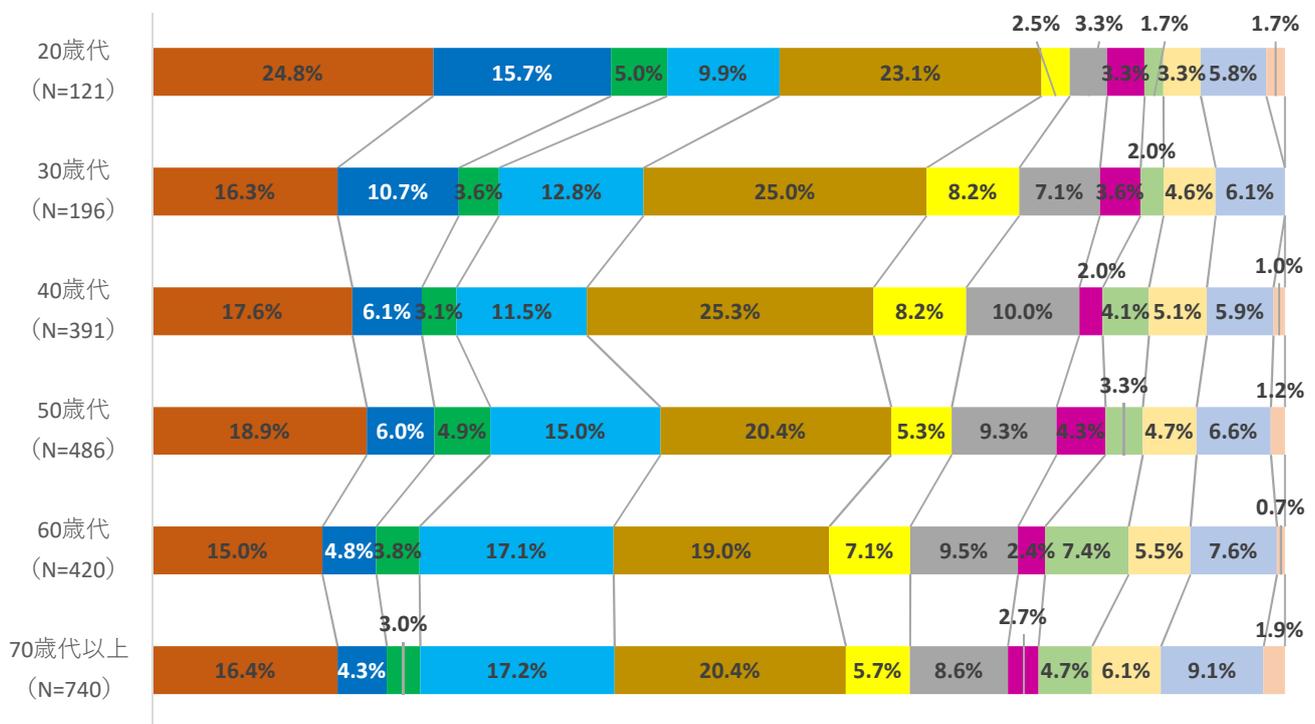
性別にみると、男女の項目で大きな差はなく、「観覧・鑑賞の機会の提供」の回答が最も多くなっている。

年齢別にみると、全年齢において、「観覧・鑑賞の機会の提供」の回答率が約2割となっている。また、年代が上がるにつれ、「市民に対する文化芸術活動に関する情報の提供」や「民間で提供する文化芸術に関する講座の充実」の回答数が多くなっている。

【性別】



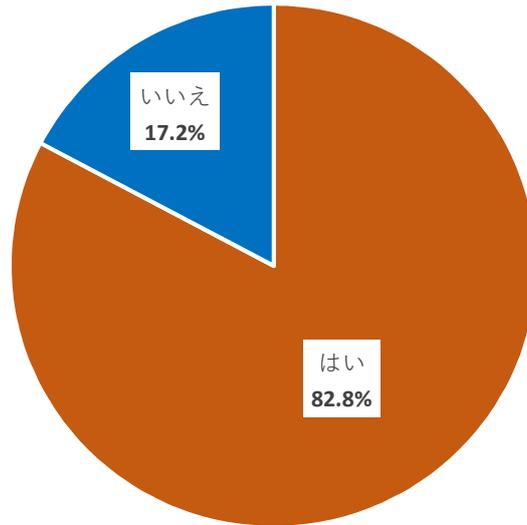
【年齢別】



- 文化芸術関係の催し・活動を数多く開催する
- 文化芸術関係の催し・活動に参加する
- 文化芸術活動にボランティアでスタッフとして参加する
- 市民に対する文化芸術活動に関する情報の提供
- 観覧・鑑賞の機会の提供
- 文化芸術活動の練習や製作及び発表の場所の提供
- 文化芸術活動に対しての資金的支援
- 文化芸術にかかわる国際交流の実践
- 指導者やアドバイザーの派遣などの支援策の充実
- 民間で提供する文化芸術に関する講座の充実
- 文化施設の整備・充実
- その他

問15

新型コロナウイルス感染症の拡大等、社会情勢が変化している中であっても、文化芸術は必要だと思いますか。



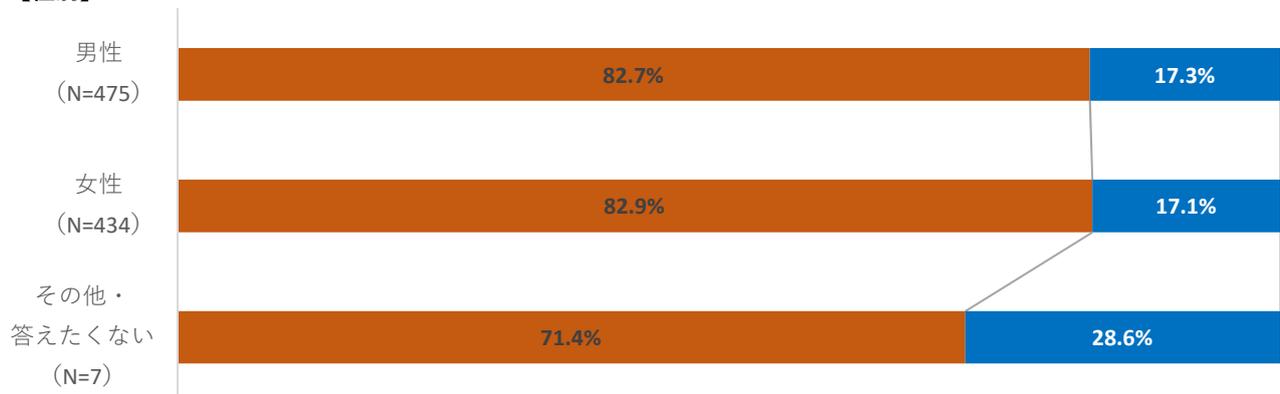
N = 916

新型コロナウイルス感染症の拡大等、社会情勢が変化している中であっても、文化芸術は必要だと思うかについて、「はい」の回答率が8割を超えている。

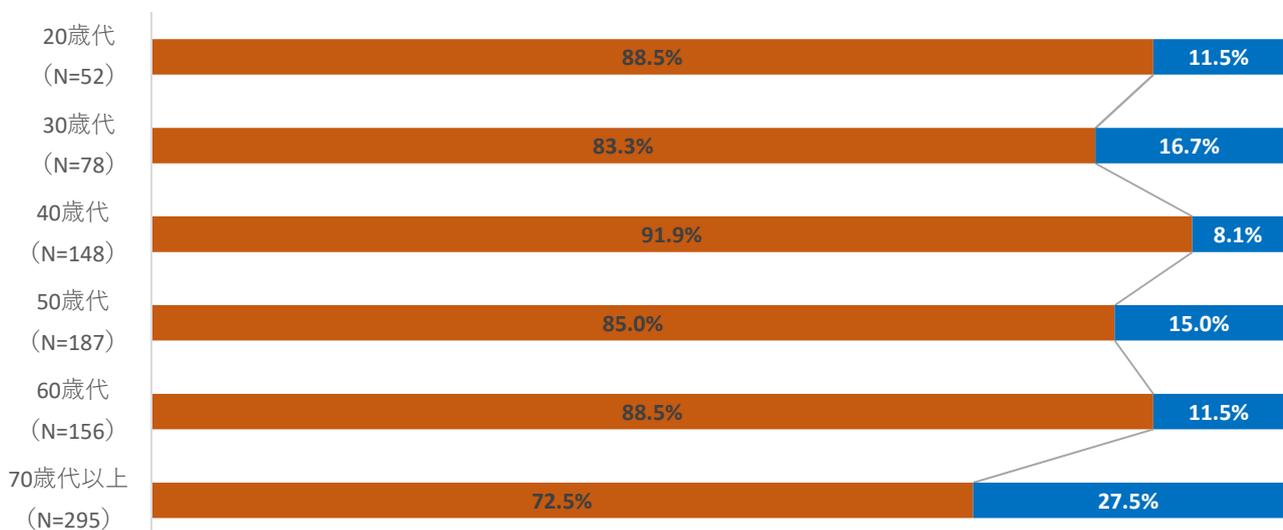
性別にみると、「その他・答えたくない」を除き、「はい」の回答率が8割を超えている。

年齢別に見ると、70歳代以上を除き「はい」の回答率が8割を超えており、多くの市民が社会情勢の変化があったとしても、文化芸術が必要と思っていることが分かる。

【性別】



【年齢別】

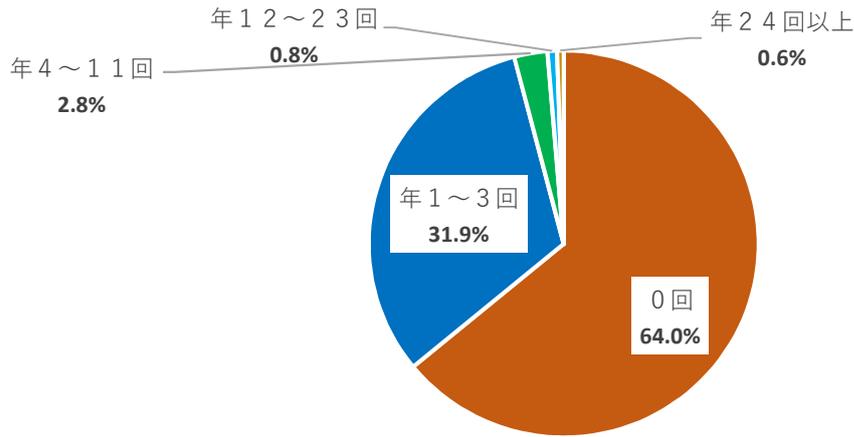


■ はい ■ いいえ

問16

本市の以下の文化施設を年間何回利用されていますか。それぞれについて教えてください。（鑑賞のみ及びスタッフ・演者としての活動を含みます）

(1) サポートホール高松（会議室・練習室を含みます）※休館前の状況で御回答ください。

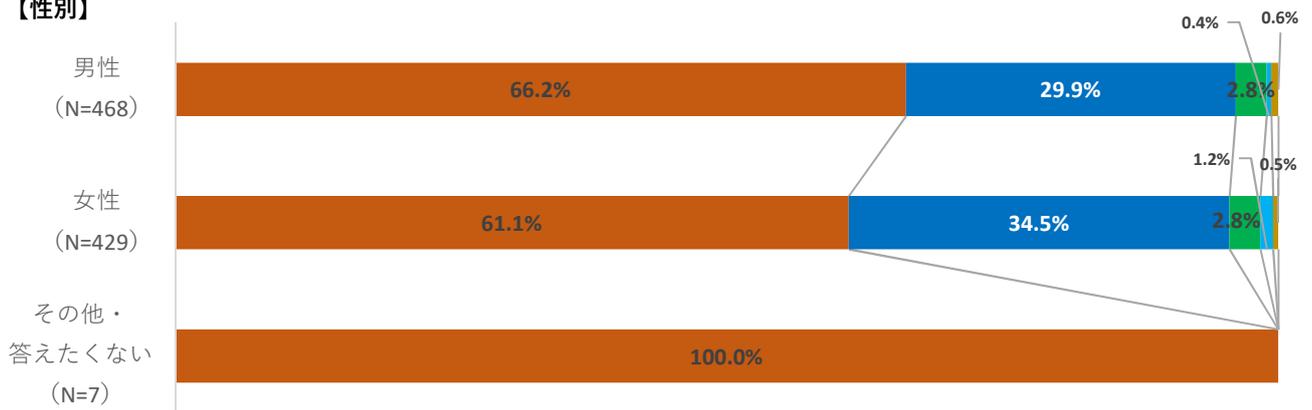


N = 904

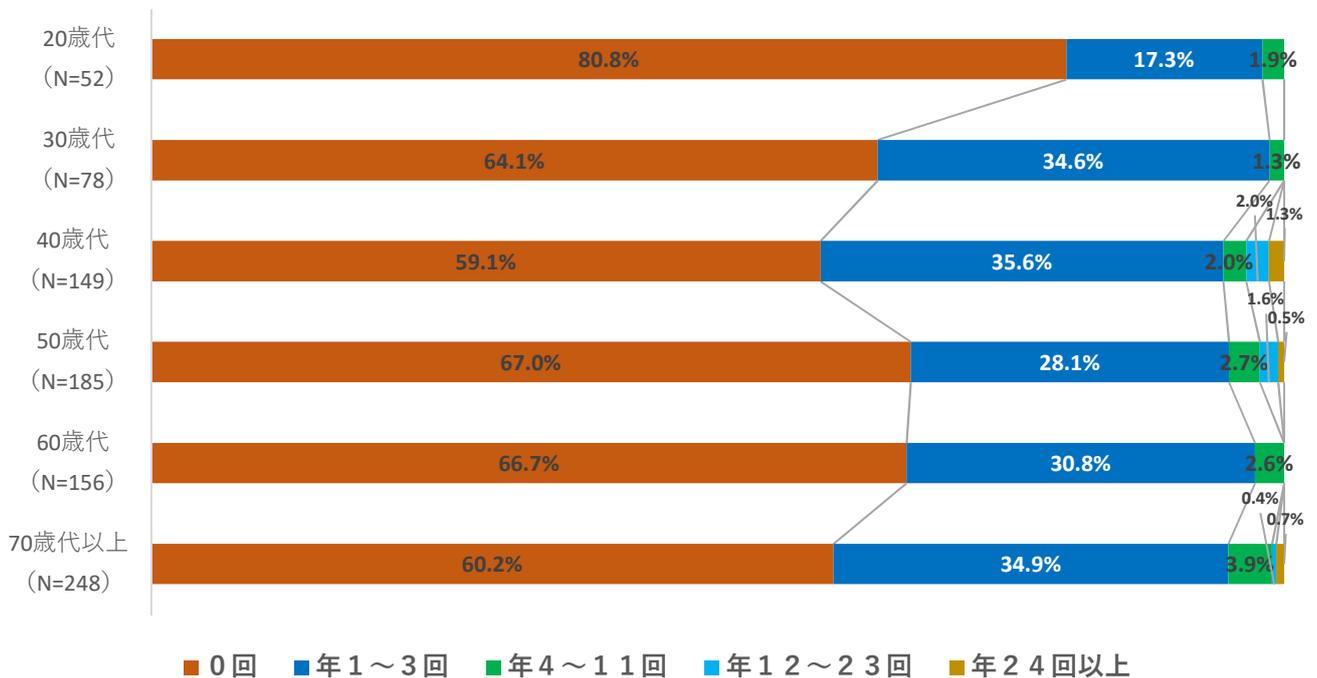
サポートホール高松を年間何回利用しているかについて、「0回」が半数を超え、年1～3回以上を合わせた『使う』は36.1%となっている。

性別にみると、『使う』が男性では33.7%、女性では39.0%と女性の使用率が少し高い。年齢別にみると、20歳代を除き『使う』の回答が3割を超えている。

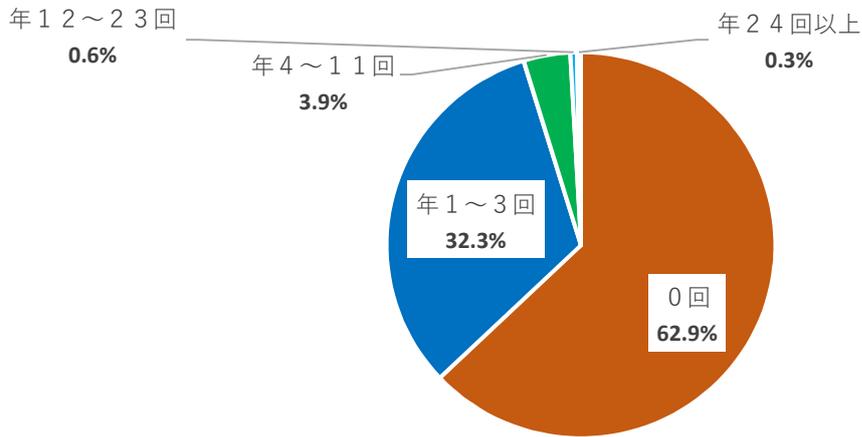
【性別】



【年齢別】



(2) 高松市美術館



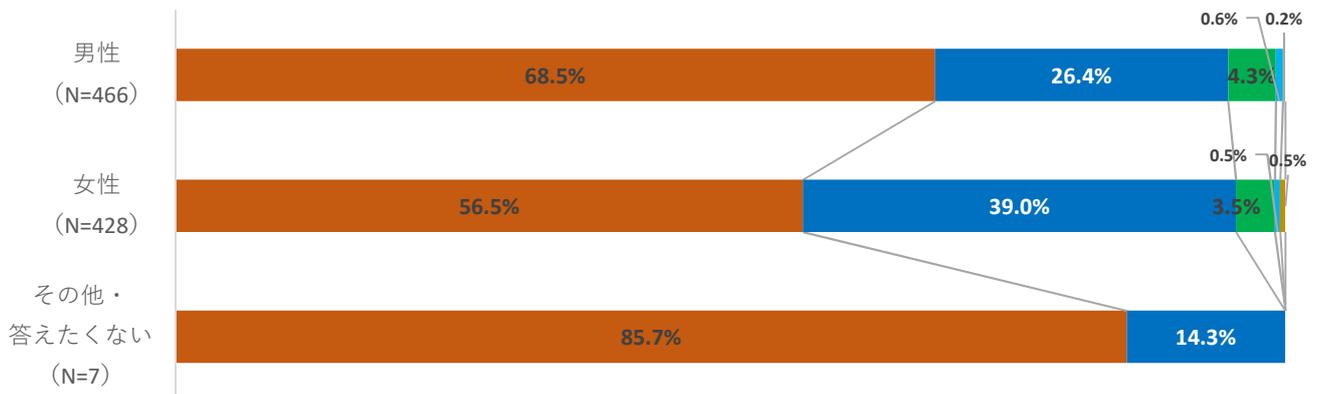
N = 901

高松市美術館を年間何回利用しているかについて、「0回」が半数を超え、年1～3回以上を合わせた『使う』は37.1%となっている。

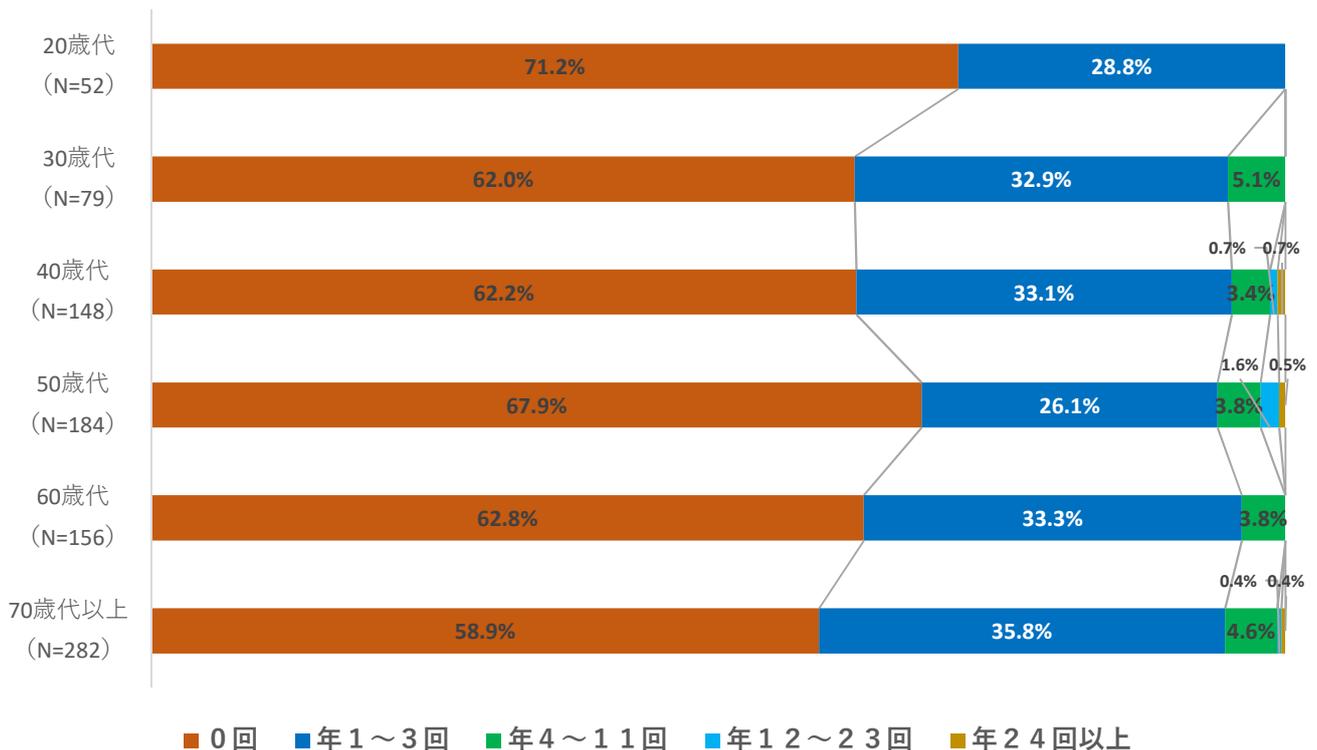
性別にみると、『使う』が男性では31.5%、女性では43.5%と女性の使用率が高い。

年齢別にみると、ほぼ全ての年代で『使う』の回答が約3割を超えている。

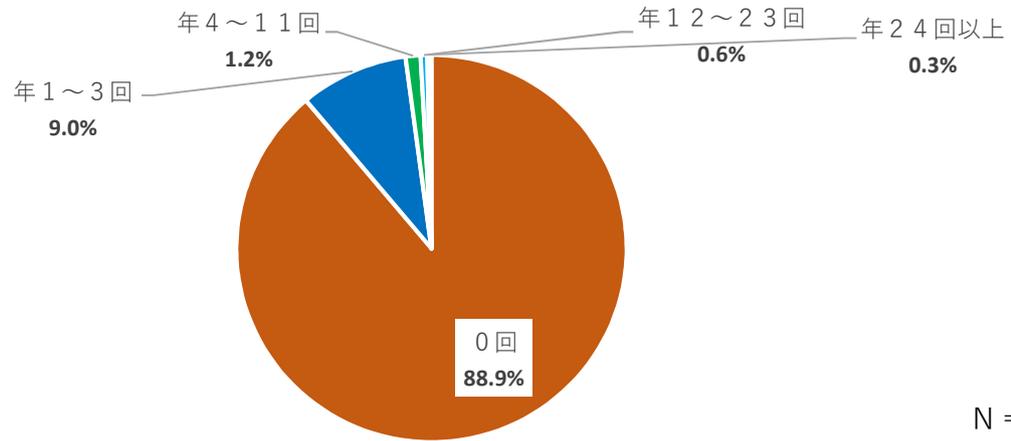
【性別】



【年齢別】



(3) 生涯学習センター（まなびCAN）

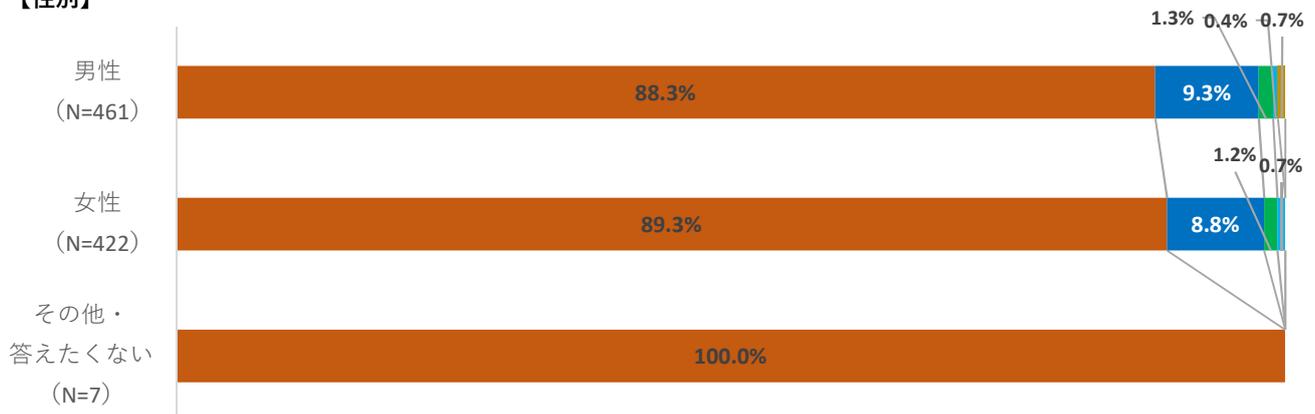


生涯学習センター（まなびCAN）を年間何回利用しているかについて、「0回」が約9割で、年1～3回以上を合わせた『使う』は11.1%となっている。

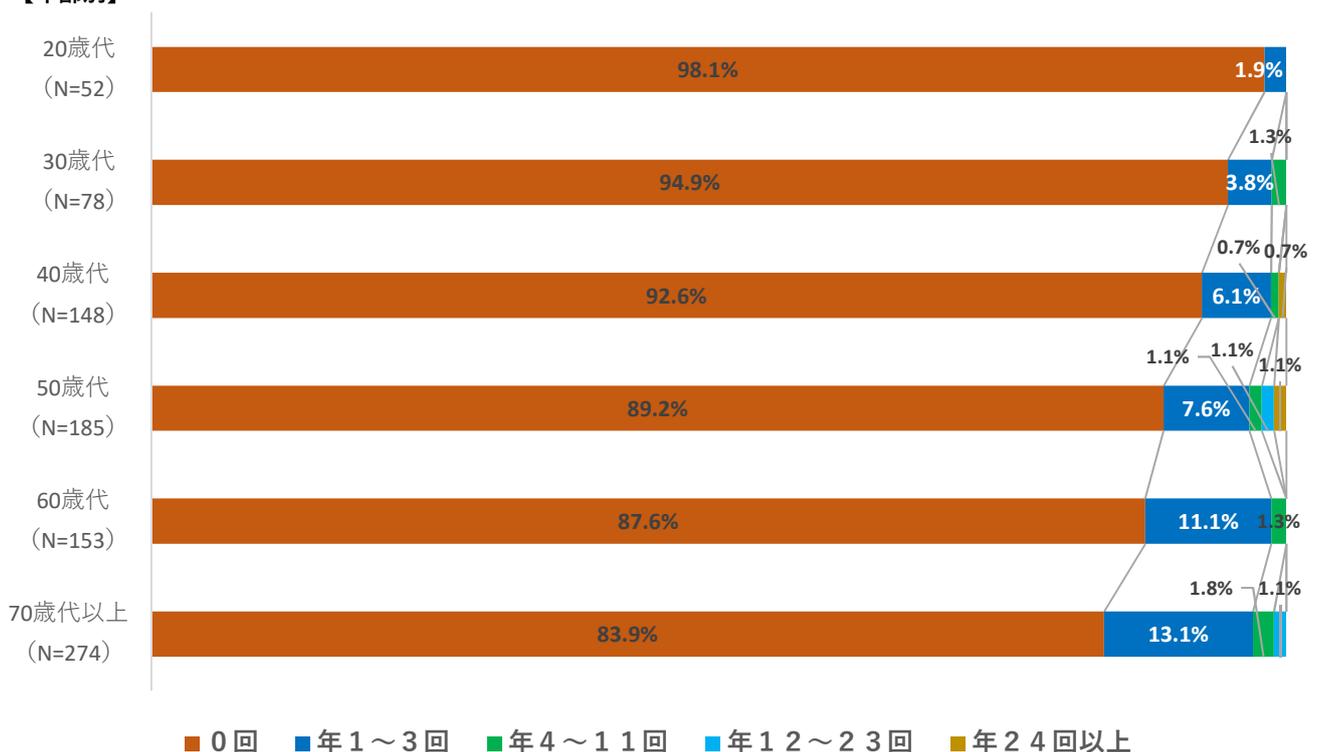
性別にみると、『使う』が男性では11.7%、女性では10.7%と性別による大きな差はみられない。

年齢別にみると、年代が上がるにつれて、『使う』の回答が増加している。

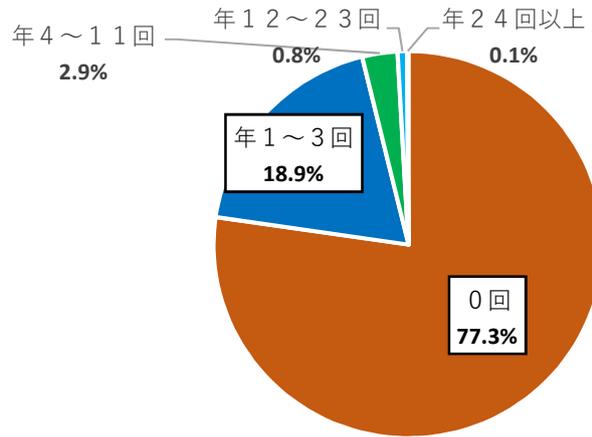
【性別】



【年齢別】



(4) 瓦町FLAG (8F) 市民交流プラザ IKODE 瓦町 アートステーション



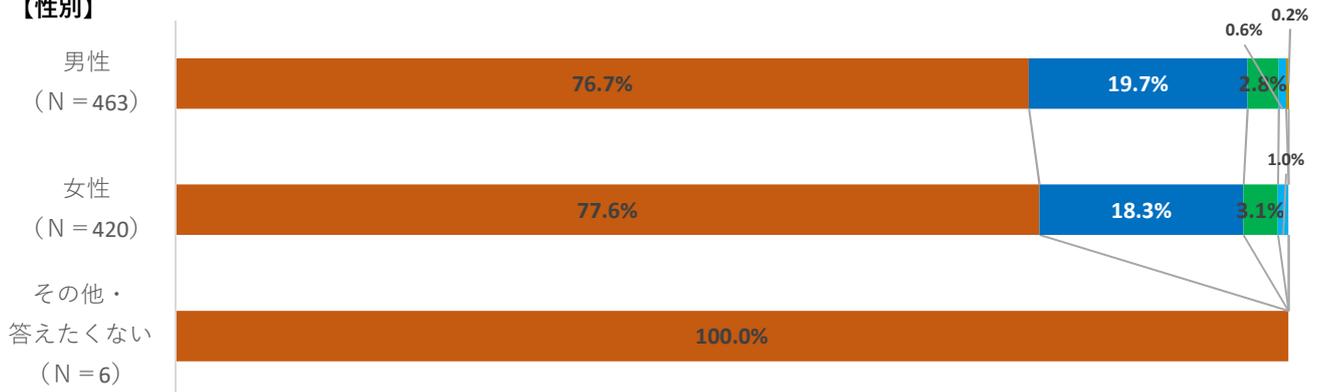
N = 889

瓦町FLAG (8F) 市民交流プラザ IKODE 瓦町アートステーションを年間何回利用しているかについて、「0回」が7割を超えており、年1~3回以上を合わせた『使う』は22.7%となっている。

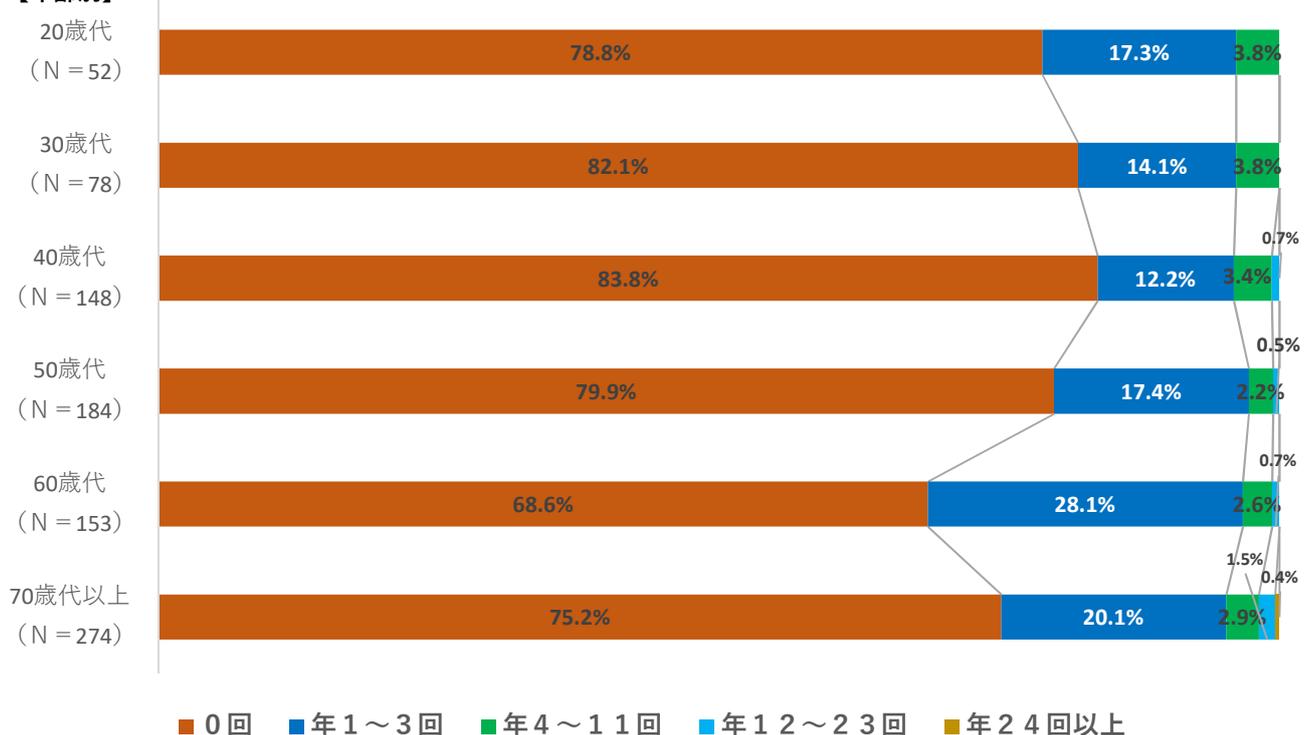
性別にみると、『使う』が男性では23.3%、女性では22.4%と性別による大きな差はみられない。

年齢別にみると、60歳代を除きすべての年代で「0回」の回答が7割を超えている。

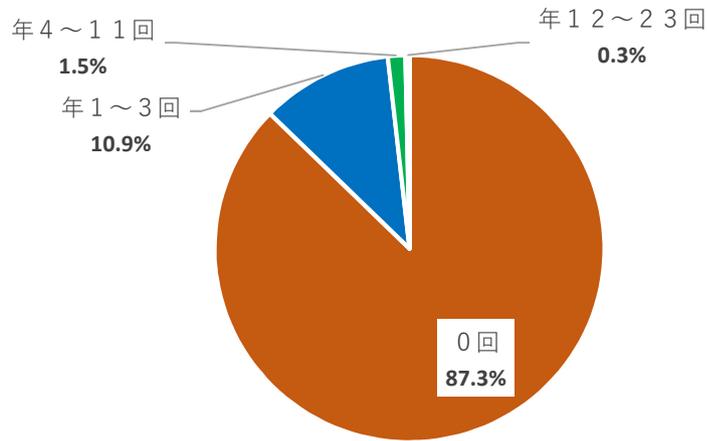
【性別】



【年齢別】



(5) 高松国分寺ホール



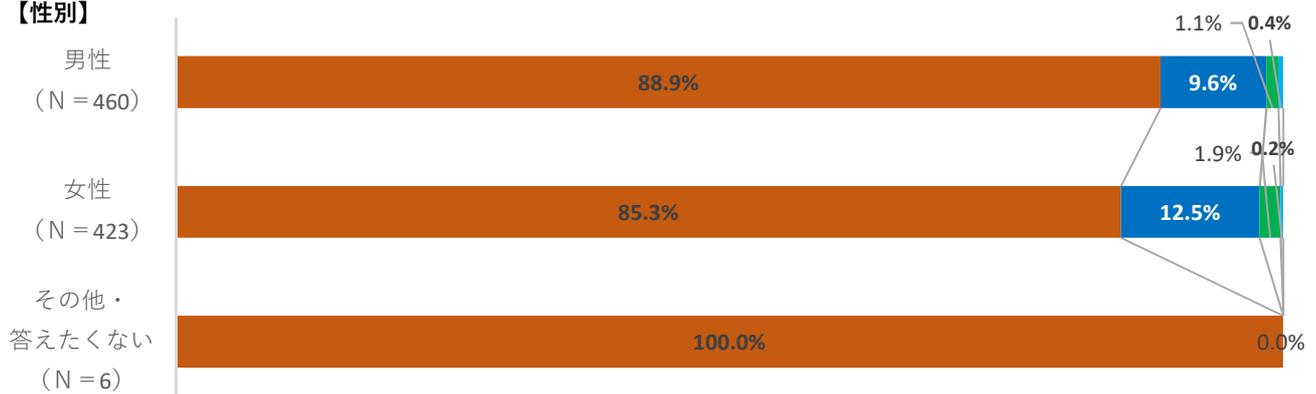
N = 889

高松国分寺ホールを年間何回利用しているかについて、「0回」が8割を超えており、年1～3回以上を合わせた『使う』は12.7%となっている。「年24回以上」は0%となっている。

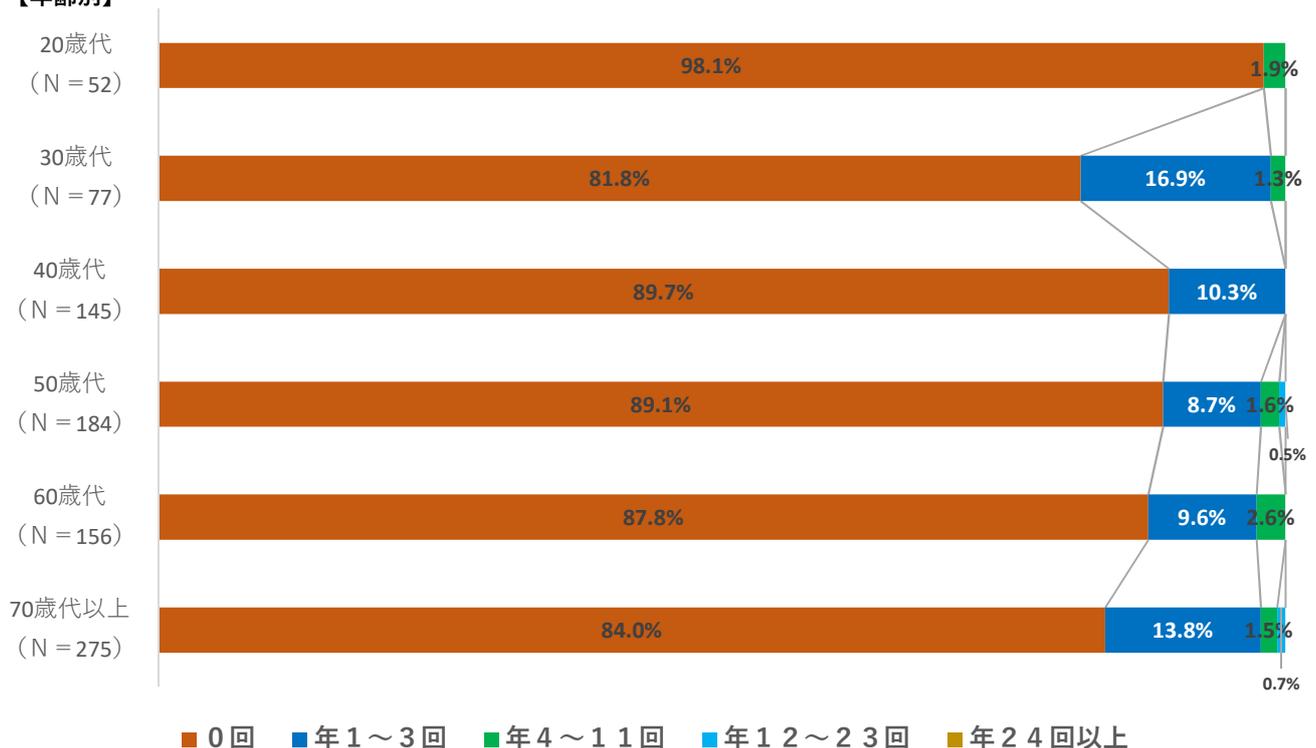
性別にみると、『使う』が男性では11.1%、女性では14.63%と性別による大きな差はみられない。

年齢別にみると、すべての年代で「0回」の回答が8割を超えている。

【性別】

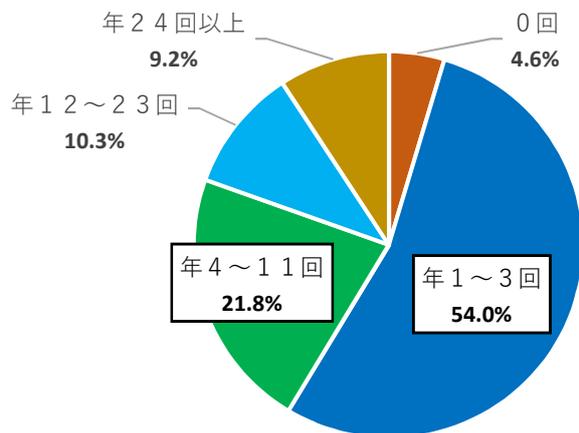


【年齢別】



■ 0回 ■ 年1~3回 ■ 年4~11回 ■ 年12~23回 ■ 年24回以上

(6) その他

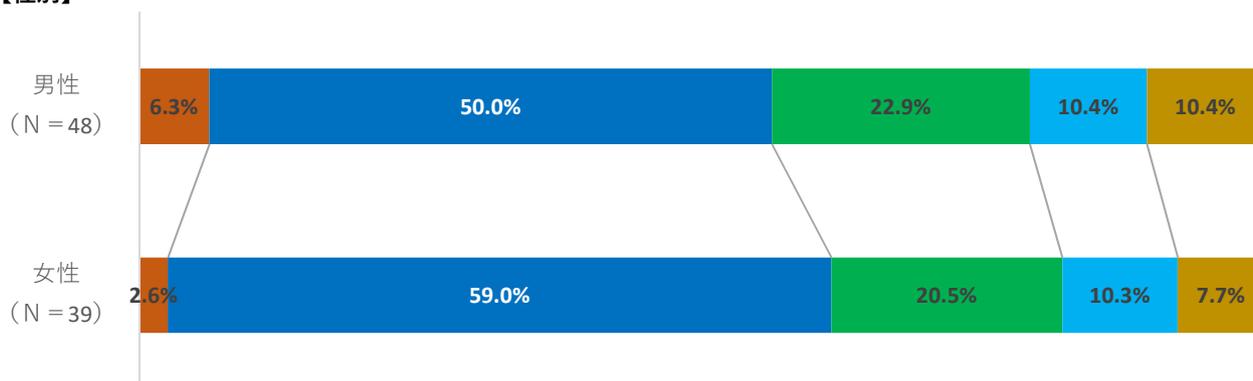


N = 87

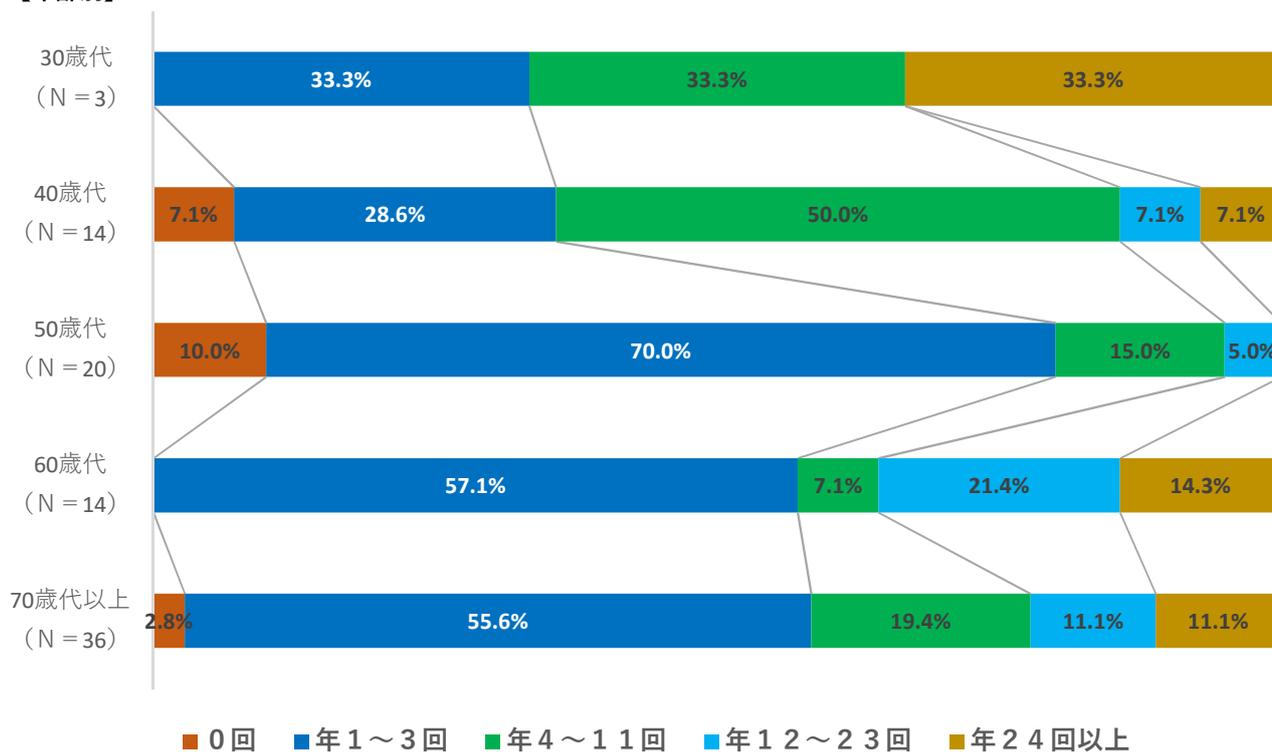
その他の施設では、「コミュニティセンター」や「塩江美術館」「図書館」の回答が多く、「年1~3回」の回答が5割を超えていた。

性別にみると、その他・答えたくないの方の回答はなく、性別による大きさはみられない。年齢別にみると、20歳代からの回答はなく、60歳代以上において「年12~23回」や「年24回以上」の回答が多い。

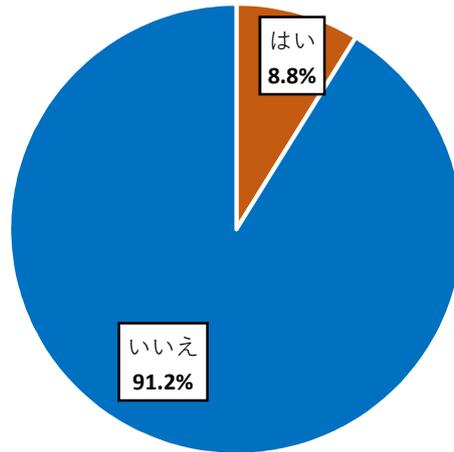
【性別】



【年齢別】



問17 オルタナティブ・スペースを御存知ですか。

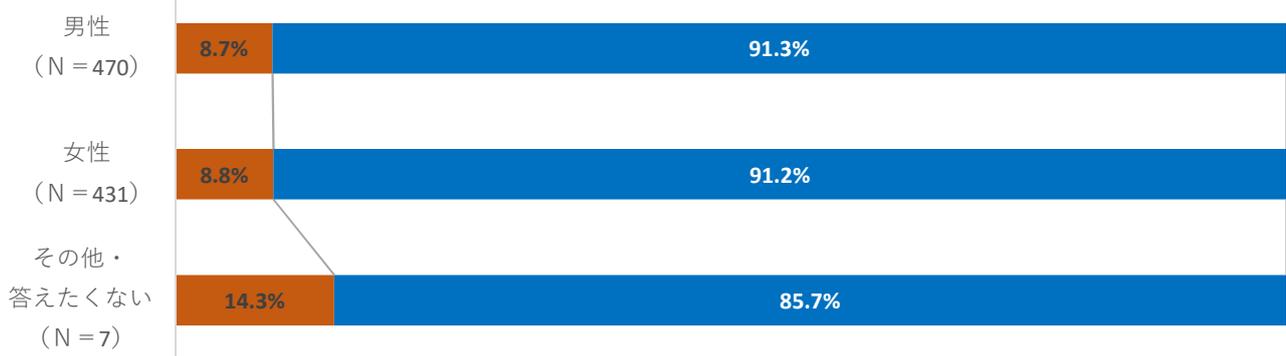


N = 908

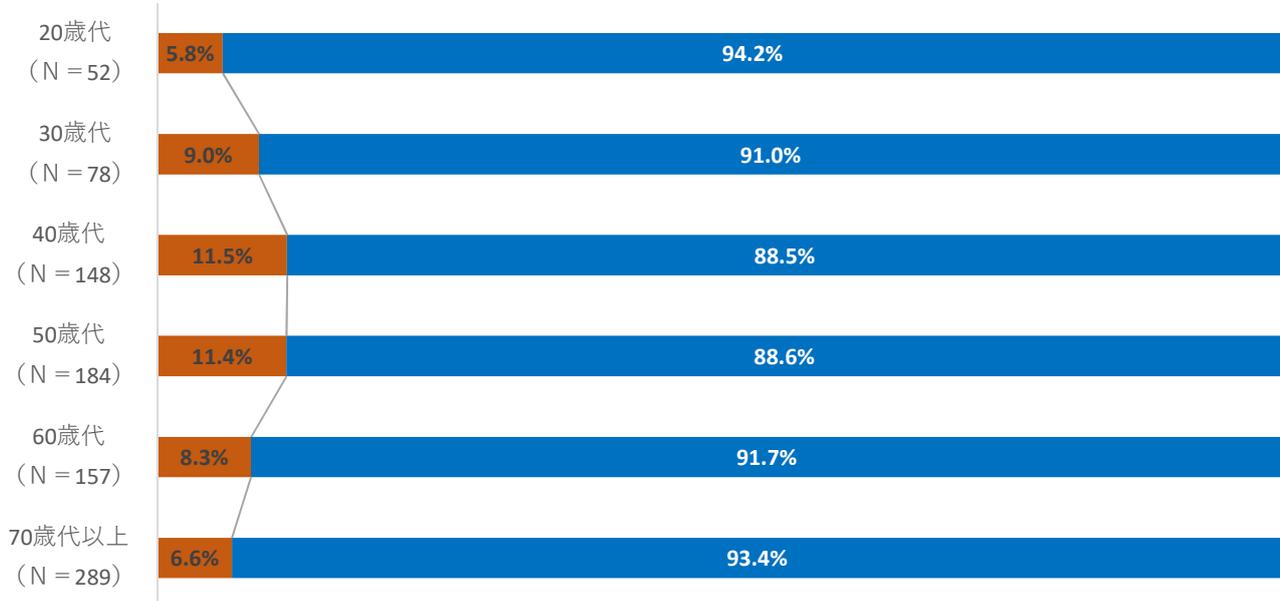
オルタナティブスペースを知っているかについて、「いいえ」が91.2%と大多数の市民は知らないということが分かった。

どの性別、年齢別にみても「いいえ」が約9割となっている。

【性別】



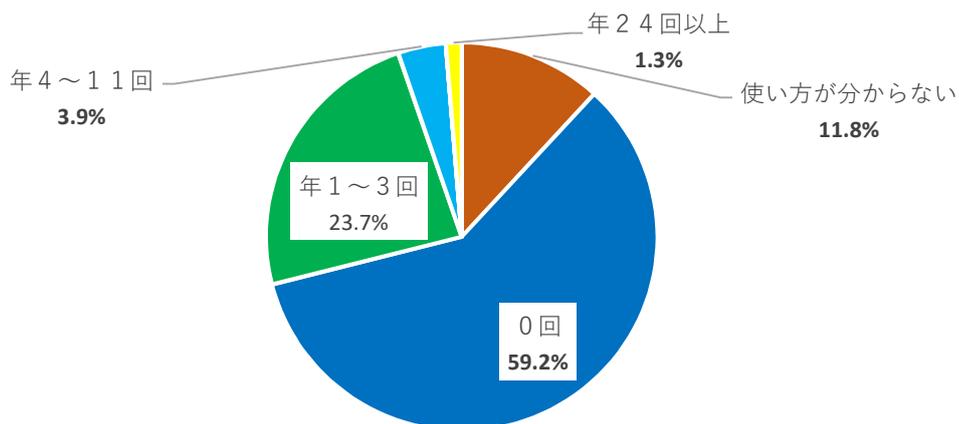
【年齢別】



■ はい ■ いいえ

問18

問17で「はい」と回答した方にお聞きします。オルタナティブ・スペースを年間何回利用されていますか。

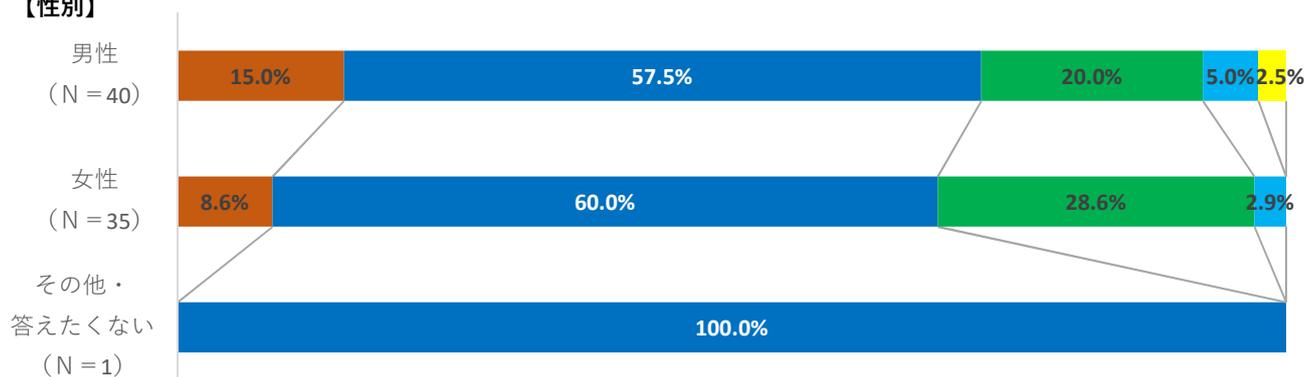


オルタナティブ・スペースを年間何回利用しているかについて、オルタナティブ・スペースを知っている人のうち、年1～3回以上を合わせた『使う』は28.9%となっている。「年12回～23回」は0%となっている。

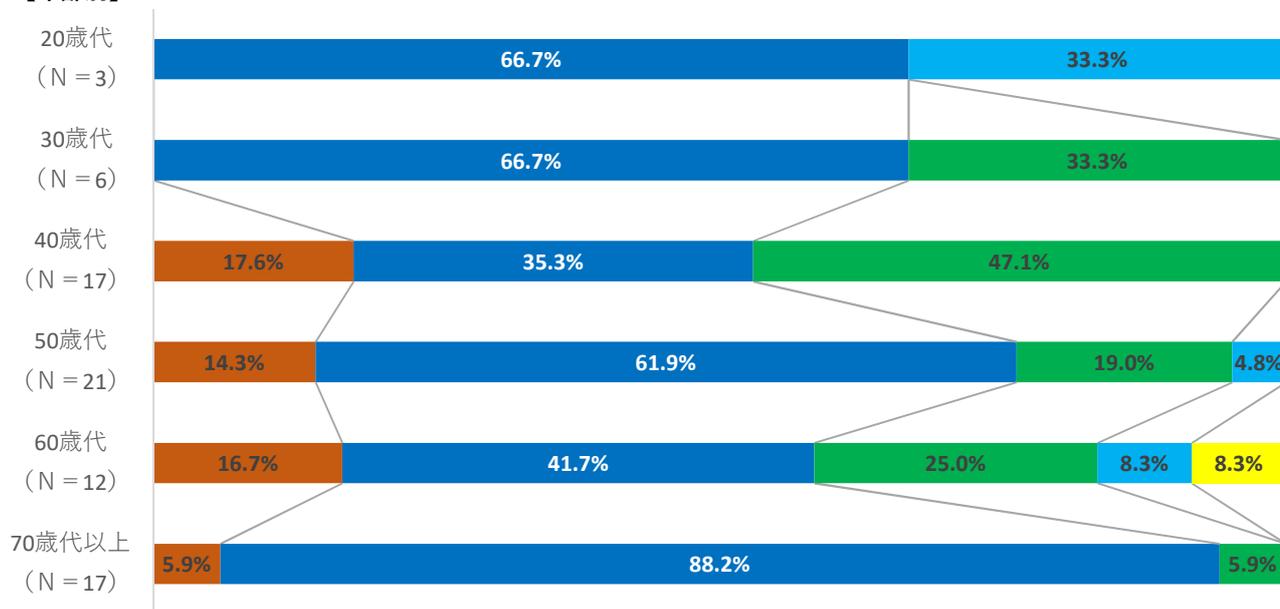
性別にみると、『使う』が男性では27.5%、女性では31.5%と女性の方が若干多い。

年齢別にみると、40歳代以上の年代から「使い方が分からない」の回答があがるようになっている。

【性別】



【年齢別】



■ 使い方が分からない ■ 0回 ■ 年1～3回 ■ 年4～11回 ■ 年12～23回 ■ 年24回以上

問19

本市の文化芸術の現状や課題、文化芸術活動の先にある目指すべきまちのイメージ、あなたが実際に参加してみたい、又は、あればいいと思う文化芸術に関する催し・活動など、御意見を御自由に御記入ください。

(主な意見)

【行政】

- ・文化芸術に関する情報発信の強化
- ・文化施設への交通アクセスの改善、無料駐車場の充実
- ・施設の新設等に多額の税金を投入せず、今あるものを用いての文化芸術振興
- ・明確な目標を定めた事業の推進
- ・市内アーティストに対する支援の充実
- ・アーツカウンシルの構築

【子ども・学校】

- ・子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実
- ・乳幼児も参加できる催しの充実
- ・芸術士の派遣範囲の拡大
- ・学校における文化芸術教育の導入

【障がい者】

- ・障がいのある方でも文化芸術活動に参加できる工夫

【地域】

- ・作品展示場所や練習場の充実
- ・コミュニティセンターでの活動の発信
- ・中心市街地へのアクセスの改善

【伝統文化】

- ・伝統文化の情報発信
- ・伝統工芸の保存と継承

【瀬戸内国際芸術祭】

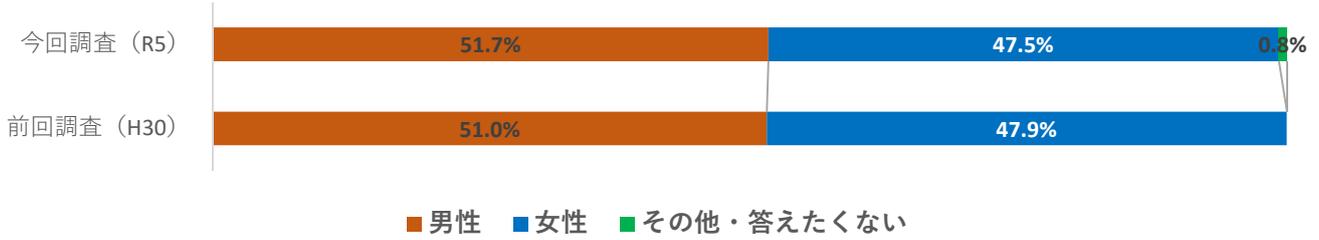
- ・芸術祭を契機とした、芸術家の移住促進の取組
- ・芸術祭とは異なる層の集客の見込めるイベントの開催

【その他】

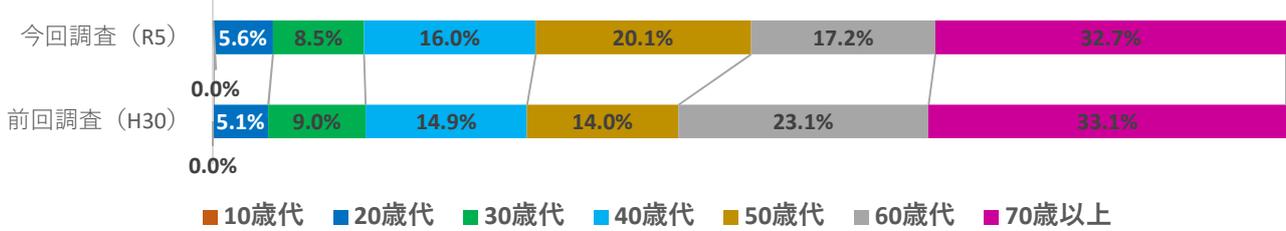
- ・著名な展覧会、オーケストラ等の招聘
- ・芸術大学の設立または誘致
- ・文化芸術活動が自由に行える広場や通りの設置
- ・文化芸術を鑑賞する側の育成
- ・文化芸術活動に参加するハードルを下げる

高松市文化芸術振興計画の数値目標等に関する前回調査との比較

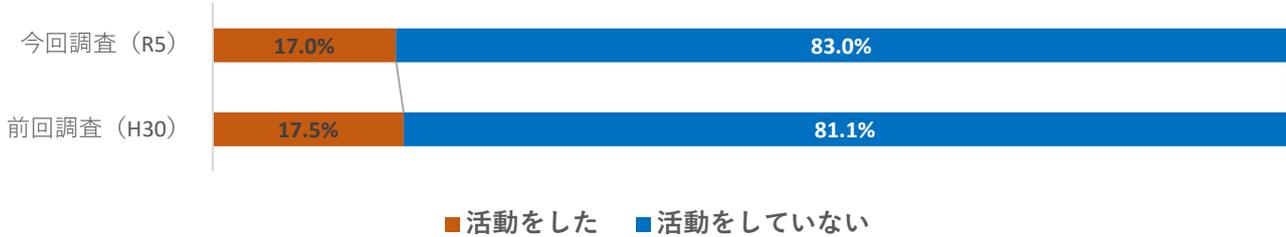
【回答者の性別】



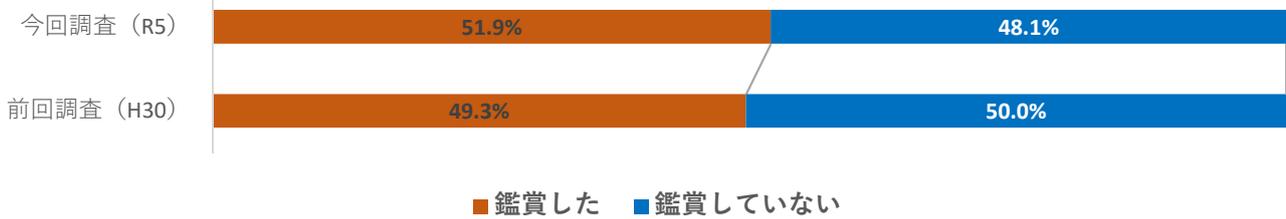
【回答者の年齢】



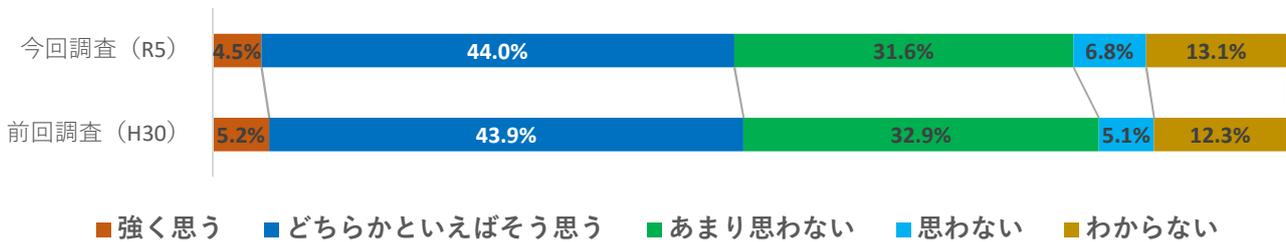
【自分自身が文化芸術活動をした人の割合】



【文化芸術を鑑賞した人の割合】



【文化芸術が盛んなまちだと思う人の割合】



【市の取組に対し満足だと思う人の割合】

